

日本気象学会 2015 年度秋季大会 出展・協賛企業・団体等一覧

今大会の開催にあたり、以下の企業・団体からご出展・ご協賛・ご協力を頂きました（2015年8月20日現在；50音順）。厚く御礼申し上げます。（*は会場内に併設されるブースにて展示を行う予定の企業・団体です。）

<出展・協賛>

株式会社ニューテック*

サイバネットシステム株式会社*

特定非営利活動法人 気象システム技術協会*

日本無線株式会社*

日立パワーソリューションズ*

三菱電機株式会社*

有限会社イーオーアール*

<協賛>

株式会社朝倉書店

全日本空輸株式会社

日本気象学会 2015 年度秋季大会

会期：2015 年 10 月 28 日（水）～30 日（金）

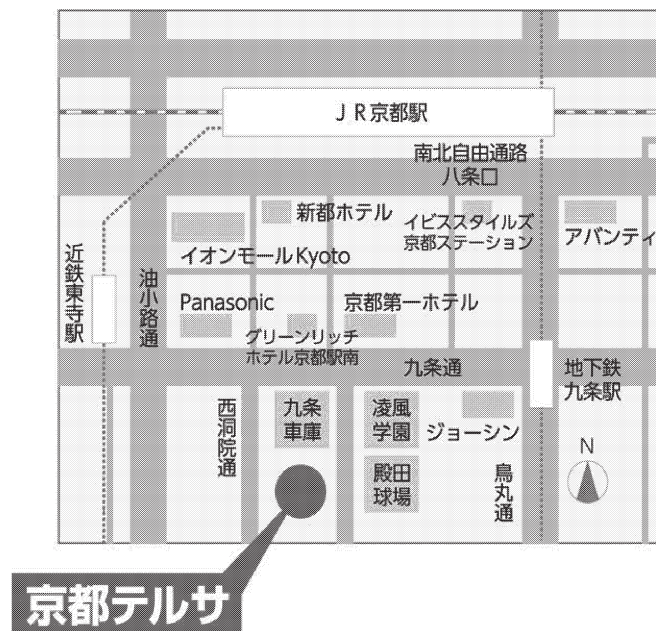
会場：京都テルサ 〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70番地
 （新町通九条下ル 京都府民総合交流プラザ内）
<http://www.kyoto-tersa.or.jp/>

大会実行委員会担当機関：大阪管区気象台，京都大学，神戸大学，京都産業大学，理化学研究所，
 総合地球環境学研究所，日本気象予報士会関西支部

大会委員長：上垣内 修（大阪管区気象台）

当日の会場への連絡先：大会実行委員会事務局（京都テルサ研修室，東館2階）
 TEL：075-692-3400・FAX：075-692-3402（京都テルサ代表）
 「日本気象学会秋季大会実行委員会」とご指名ください

会場案内図



交通の案内：

- JR 京都駅（八条口西口）より南へ徒歩約15分
- 近鉄東寺駅より東へ徒歩約5分
- 地下鉄九条駅4番出口より西へ徒歩約5分
- 市バス九条車庫南へすぐ
- 名神京都南インターより国道1号北行き市内方面へ，九条通を東へ，九条新町交差点を南へ

大会行事予定

A 会場	: テルサホール (西館 1 階)	シンポジウム・授賞式会場: テルサホール (西館 1 階)
B 会場	: セミナー室 (東館 2 階)	受付: テルサホール前 (9:00 受付開始) (西館 1 階)
C 会場	: 中会議室 (東館 2 階)	大会事務局: 研修室 (東館 2 階)
D 会場	: 大会議室 (東館 3 階)	懇親会: 大会議室 (東館 3 階)
ポスター会場: テルサホール後方スペース 西館 2 階展示スペース		

() 内は講演数と講演番号

		A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
10月28日 (水)	09:30~ 12:30	スペシャル・セッション 「里村雄彦先生追悼セッション: 非静力学数値モデルと熱帯モンスーン降水研究の発展のために」 (15, A101~A115)	気候システム I (12, B101~B112)	観測手法 (15, C101~C115)	降水システム I (16, D101~D116)
	13:30~ 17:00	スペシャル・セッション 「温室効果気体研究の観測・測定技術の進展による新たな展開」 (22, A151~A172)	気候システム II (20, B151~B170)	中層大気 (13, C151~C163) 中高緯度大気 (5, C164~C168)	気象予報・データ同化 (20, D151~D170)
	17:00~ 18:00	ポスター・セッション (100, P101~P1a0)			
10月29日 (木)	09:05~ 12:00	降水システム II (15, A201~A215)	気候システム III (7, B201~B207) 気象教育 (3, B208~B210)	大気力学 (6, C201~C206) 大気放射 (6, C207~C212)	環境気象・大気境界層 (11, D201~D211)
	13:00~ 13:30	堀内賞・正野賞・山本賞・奨励賞授与			
	13:30~ 15:30	堀内賞・正野賞・山本賞受賞記念講演			
	15:40~ 17:55	シンポジウム「スーパーコンピューティングと気象学」 基調講演: 三好建正, 佐藤正樹, 斉藤和雄, 豊田英司, 石川 裕, 富田浩文			
	18:10~ 20:00	懇親会			
10月30日 (金)	09:30~ 11:30	熱帯大気・台風 I (11, A301~A311)	スペシャル・セッション 「熱帯・中高緯度, 成層圏・対流圏結合変動過程と異常気象の予測可能性」 (10, B301~B310)	スペシャル・セッション 「「あかつき」金星大気探査カウントダウン」 (16, C301~C316)	降水システム III (11, D301~D311)
	11:30~ 12:30	ポスター・セッション (101, P301~P3a1)			
	13:30~ 17:00	熱帯大気・台風 II (20, A351~A370)	スペシャル・セッション 「防災気象情報~情報をつくる・伝える・使う工夫~」 (20, B351~B370)	スペシャル・セッション 「気象予測・観測技術の再生可能エネルギー分野への応用」 (22, C351~C372)	物質循環 (17, D351~D367)

発表件数: 514 件 (一般口頭発表 208, ポスター 201, スペシャル・セッション 105)
口頭発表の講演・質疑時間: 7 分と 2 分

当大会予稿集に掲載された研究発表の文章・図表を複製あるいは翻訳して利用する場合には, 日本気象学会の文書による利用許諾を得た上で出所明示して利用しなければなりません。ただし著作者自身による利用の場合は, 利用許諾の申請は不要です。

本プログラムの記載内容に関する問い合わせは, 〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1 気象研究所予報研究部内 講演企画委員会 (e-mail: kouenkikaku2015a@mri-jma.go.jp) まで。

大会参加費・懇親会費

大会参加費

- 大会参加費は以下の表の通りです。

大会参加費		
種別	前納	当日
講演者 A	8,000 円	—
講演者 B	5,000 円	—
聴講者	3,000 円	4,000 円

- 講演者の種別：
 - 講演者 A：研究機関・大学に所属する講演者（ただし、学部生・院生は除く）
 - 講演者 B：講演者 A に該当しない講演者
- 講演件数が 2 件の場合も大会参加費は変わりません（講演件数による加算はありません）。
- シンポジウムのみに参加する場合は、参加費は無料です。

懇親会費

- 懇親会費は以下の表の通りです。

懇親会費		
種別	前納	当日
一般	5,000 円	6,000 円
学生	4,000 円	4,500 円

支払方法

- 講演者の参加費の支払い方法は前納のみとなっており、既に受付は締め切られています。
- 懇親会費及び聴講者の参加費を前納する場合は、大会ホームページにて 2015 年 8 月 25 日（火）までにお支払下さい（郵便振替の場合は 2015 年 8 月 18 日（火）まで）。それを過ぎた場合は当日払いとなります。

領収書

- 領収書は参加者本人の名義で、大会当日受付にて名札と一緒に手渡される予定です。
- 名義の変更が必要な場合には再発行が可能ですので、大会当日受付にてお申し出下さい。

その他

- 一旦支払われた参加費・懇親会費は返却いたしません。
- 参加費・懇親会費には会員・非会員の区別はありません。
- 非会員の方も規定の参加費・懇親会費をお支払い頂ければ大会・懇親会に会員と同様に参加することができます。

講演の方法

口頭発表（スペシャル・セッションを含む）

- 一般口頭発表の講演 1 件あたりの持ち時間は 9 分（講演 7 分・質疑 2 分）です。
- スペシャル・セッションの発表時間については世話人からの指示に従ってください。
- 講演には PC プロジェクターを使用できます。
- 講演にあたり、予め以下の点をご了承ください。
 - ✓ パソコンは各自で準備して下さい。会場にはプロジェクターおよび接続ケーブルのみを準備します。
 - ✓ セッション開始前の休憩時間などを利用して、必ず接続の確認を行っておいて下さい。また接続が不安な場合は、セッション開始前に会場係に申し出て下さい。
 - ✓ 突然の故障や接続の際のトラブルが発生した場合、座長の判断で発表順の繰り下げなどの対応をとることがあります。携帯用メディアによるバックアップファイルの準備など、トラブルへの備えは講演者自身で行って頂くようにお願いします。

ポスター発表

- 講演者はポスターに表題と著者名を明記して下さい。
- ポスター発表の一人当たり使用可能面積は、縦 140 cm × 横 90 cm 程度となっています。
- ポスターの掲示には画鋲のみが使用できます。画鋲は会場に用意されています。
- ポスターの掲示可能時間は以下の通りです。会場の都合上時間厳守でお願いします。
 - ✓ 第 1 日の発表者は 10 月 28 日 09:00～18:00
 - ✓ 第 3 日の発表者は 10 月 30 日 09:00～17:00
- ポスター会場での機器の使用は、講演申し込み時に申し出ていたもの以外は原則として認められません。

保育施設の紹介について

大会実行委員会では、大会期間中の保育施設の紹介と、施設利用費用の一部補助を行います。紹介する保育施設と補助金額は下記の通りです。

保育施設：
「保育園 ホテルキッズ」
URL：<http://hotel-kids.jp/>
TEL：075-351-0052

補助金額：
保育に要した費用
(保育施設利用料+交通費上限1000円)の3分の2。

施設を利用される場合は、利用者が直接お申込みのうえ、9月30日（水）までに下記担当者までご連絡下さい。他の施設を利用される場合にも補助が適用できます。保育施設の利用をご検討されている方は、お気軽に担当者にお問い合わせく

ださい。

連絡先：安富 奈津子（総合地球環境学研究所）

E-mail：yasutomi@chikyu.ac.jp

TEL：075-707-2412

シンポジウム「スーパーコンピューティングと気象学」

日時：大会第2日（10月29日〔木〕）15:40～17:55

会場：京都テルサ テルサホール（大会A会場）

司会：三好 建正（理化学研究所）

※シンポジウムの聴講は無料です。一般の方も参加できます。

趣旨

計算機によるシミュレーションは、理論、実験に次ぐ第3の科学的手法とも言われ、気象学の発展に重要な役割を果たしています。我が国は大型計算機環境に恵まれ、1秒間に1京回（10ペタフロップス）の演算速度を世界に先駆けて実現したスーパーコンピュータ「京」も、気象学の最先端研究に役立てられています。これにより、実際の竜巻を再現する超高解像度気象シミュレーションや、全球を1キロメートル以下に区切った高精細の全球大気シミュレーション、従来より二桁大きい1万メンバーのアンサンブルシミュレーションなど、世界をあっと驚かせるような研究成果が出てきています。また、2020年には「京」の後継機であるポスト「京」スーパーコンピュータを稼働させるべく開発が進められています。このほか、第4の科学的手法とも言われるデータ集約型サイエンスが台頭し、ビッグデータを活用した新たな知の探求も始まっています。

今回のシンポジウムでは、スーパーコンピュータを用いた気象学の最先端研究、及び、将来展望について議論します。また、メニーコア、階層型構造など、スーパーコンピュータのアーキテクチャは複雑化する傾向があり、科学的発見のためにはこれを使いこなすことが重要です。このような高度な人材育成や、計算機科学者との連携についても考え、これからの気象学の発展のためのスーパーコンピューティングについて考えたいと思います。

基調講演

「趣旨説明：京、ビッグデータ、ポスト京へ」

「京による全球大気研究の最前線」

「京による豪雨予測研究の最前線」

「ビッグデータ、スパコンを使いこなすためには」

「将来のスパコン、気象学＝計算機科学連携」

「ポスト京に向けたモデリング、将来のスパコンと人材育成」

三好 建正（理化学研究所）

佐藤 正樹（東京大学）

斉藤 和雄（気象研究所／海洋研究開発機構）

豊田 英司（気象庁）

石川 裕（理化学研究所）

富田 浩文（理化学研究所）

講評

木本 昌秀（東京大学）

総合討論

スペシャル・セッションの概要紹介

里村雄彦先生追悼セッション：非静力学数値モデルと熱帯モンスーン降水研究の発展のために

日時：大会第1日（10月28日）09:30～12:30

場所：A会場

趣旨：京都大学教授でいらした里村雄彦先生が2014年3月3日に60歳で永眠されました。里村先生は、非静力学数値モデルの開発と数値実験によって急峻地形効果を研究されるとともに、非静力学数値モデル研究連絡会の発起人の一人としてその運営に尽力されました。また、アジアモ

ンスーンエネルギー・水循環観測研究計画（GAME）－熱帯計画、ならびにモンスーンアジア水文気候研究計画（MAHASRI）に主要メンバーの一人として参加され、とくに東南アジア域の降水システムに関する研究をされました。教育面では、学生自身が問題を発見し、解決方法を勉強しながら模索する習慣を身につけることを目指され、日本気象学会では、電子レター誌「SOLA」の立ち上げと編集委員長等で大きく貢献されました。この分科会では、先生が関わられた非静力学数値モデルの開発と利用、なら

びに熱帯モンスーン降水研究を中心とした発表を行い、先生の業績を偲びます。

世話人：重尚一（京都大学大学院理学研究科）、余田成男（京都大学大学院理学研究科）、向川均（京都大学防災研究所）、竹見哲也（京都大学防災研究所）、岩崎俊樹（東北大学大学院理学研究科）、沖大幹（東京大学生産研究所）、松本淳（首都大学東京）

温室効果気体研究の観測・測定技術の進展による新たな展開

日時：大会第1日（10月28日）13:30～17:00

場所：A会場

趣旨：温室効果気体の地球規模循環の解明は、将来の気候変動とそのフィードバック機構を精緻に予測するために不可欠である。大気中の二酸化炭素濃度の観測から始まった温室効果気体循環の研究は、その後、メタンなど多種類の気体に及び、面的には海洋や陸域生態系の観測へ、時間的にはアイスコア解析等の古環境にまで広がり、さらに同位体比や酸素窒素比等の関連物質観測など、幅広い分野で進められている。近年はレーザー分光法の活用やリモートセンシング法による計測の高度化、航空機、船舶、気球等の多様なプラットフォーム展開などによって観測の空白域が埋められつつある。このことから、観測データの統合化とその品質評価も重要な課題となり、標準スケールの技術開発が進んでいる。一方で、温室効果気体をトレーサーとする大気の輸送研究にも注目が集まっている。

本セッションはこれら最先端の観測手法や測定技術についての情報交換を行い、今後の研究の展望を議論し、分野間の連携を促進することを目的とする。従って、既存研究のレビューではなく、近年活用が進んだ観測技術や今後発展の期待される話題を歓迎する。さらに、モデルや関連研究からの要望や提言もいただきたい。

世話人：町田敏暢（国立環境研究所）、村山昌平（産業技術総合研究所）、森本真司（東北大学）、松枝秀和（気象研究所）、青木周司（東北大学）、藤谷徳之助（国立環境研究所）

熱帯・中高緯度、成層圏・対流圏結合変動過程と異常気象の予測可能性

日時：大会第3日（10月30日）09:30～11:30

場所：B会場

趣旨：近年、変分法やアンサンブル手法などデータ同化技術の高度化や、数値予報モデルの高精度・高解像度化が進み、数値予報の精度が向上している。同時に、西岸境界流域とその続流域における大気海洋相互作用や成層圏・対流圏鉛直結合に関する研究が進展し、異常気象・異常天候のメカニズムに関する新たな知見が得られている。

その結果、例えば、年々変動に伴う熱帯の海面水温や北極海の海水分布に対する大気の応答としての特徴的な天候や、北半球環状モードの成層圏から対流圏への下方伝播などから、従来考えられてきた予測可能性限界を超える糸口が見いだされつつある。また、熱帯季節内振動や極域の寒気流出を契機とした熱帯低気圧や温帯低気圧の急発達のような顕著現象についても、予測精度の向上や予測可能期間の延長に期待が高まっている。

このセッションでは、異常気象に対する熱帯や中高緯度からの影響や、中緯度の大気海洋相互作用、成層圏・対流圏結合現象のメカニズムに関する最新の研究成果を報告し、社会的関心の高い中期予報や季節予報への応用や長期変動、将来変化について議論する。

世話人：木本昌秀（東大大気海洋研）、中村尚（東大先端研）、向川均（京大防災研）、中澤哲夫（S2S国際調整事務局）、榎本剛（京大防災研/JAMSTECアプリケーションラボ）

「あかつき」金星大気探査カウントダウン

日時：大会第3日（10月30日）09:30～11:30

場所：C会場

趣旨：我が国の惑星大気探査の第一歩となる金星気象衛星あかつきは、2010年5月に打ち上げられ同年12月に金星周回軌道に入ることに失敗し、その後、太陽を周回していたが、本年12月7日に改めて金星周回軌道に入る運びとなった。予定より5年遅れ、また当初の計画と異なる軌道からの観測となるが、年明けから本格的な金星大気探査が開始される予定である。

当セッションでは、招待講演を中心にして、「あかつき」の金星大気探査の新たな計画について紹介するとともに、この5年間に Venus Express 探査機などによる観測や理論研究により得られた成果、およびその経験を踏まえた「あかつき」のデータ処理・科学研究の計画について議論し、会員諸氏に関連研究への参加を呼びかける。あわせて、金星その他の惑星大気に関する一般講演も募集する。

世話人：高木征弘（京都産業大学理学部）、今村剛（JAXA宇宙科学研究所）、松田佳久（東京学芸大学自然科学系）

防災気象情報～情報をつくる・伝える・使う工夫～

日時：大会第3日（10月30日）13:30～17:00

場所：B会場

趣旨：気象情報は、事象を定性的・定量的表現で伝える形態として運用されるのが通常である。

また、一定のリードタイムを確保し、事象の危険性を具体的にイメージさせ、防災・減災を目的とする意思決定を促すのが気象庁からの警報・注意報、そして自治体からの避難勧告・避難指示等の役割であろう。

だが実際には防災気象情報を受け取っても避難行動に直結しない事例は多い。実際の避難行動は自助による行動が最も多いが、身近な人や施設管理者からの呼びかけ、市町村の避難勧告等が避難行動のトリガーとなる。

このように、防災気象情報に人間の心理的な行動特性は大きく関係しているため、これらの点も踏まえて、情報の作成、伝達、活用の工夫や、技術シーズの創出などについて、広くアイデアを募って議論したい。

世話人：岩田修（日本気象予報士会）、難波良彰（日本気象予報士会）、川邊昭治（日本気象予報士会）、土井修二（日本気象予報士会）、鈴木浩文（日本気象予報士会）、弘中秀治（日本気象予報士会）、荒川知子（日本気象予報士会）、岡留健二（日本気象予報士会）

気象予測・観測技術の再生可能エネルギー分野への応用

日時：大会第3日（10月30日）13:30～17:00

場所：C会場

趣旨：近年、固定価格買取制度（FIT）の導入以降、太陽光発電や風力発電システムなどの再生可能エネルギーの導入量は目覚ましいものがあります。一方、これらの発電出力は天候等により左右されるため、時間的、空間的にも大きく変動します。このため、再生可能エネルギーを含めた電力の安定供給、電力の需給バランスの安定化には、太陽光や風力の予測、把握技術は不可欠な技術要素となりつつあります。また、気象の分野で技術開発された様々な予測・観測技術を用いることは、再生可能電源の系統への接続、電力系統における火力発電所等の運転計画の効率化（燃料費などのコスト低減）につながり、電力系統の運用コスト削減に貢献し、系統安定性へ大きく寄与できる可能性を秘めています。

このセッションでは、気象予測や気象観測技術が電力シ

ステム分野においてどのように利用、応用されているかの現状や技術開発の状況を把握するとともに、今後、電力システムに有効に活用されていくための議論の場にしたいと思っております。研究機関から民間の気象会社、電力システム分野など様々な角度からのご発表、意見交換を期待致します。

世話人：大竹秀明（産業技術総合研究所）、宇野史睦（産業技術総合研究所）、嶋田進（産業技術総合研究所）、宇田川佑介（東京大学）、中島孝（東海大学）、滝谷克幸（一般財団法人 日本気象協会）、早崎宣之（伊藤忠テクノロジーソリューションズ株式会社）

研究会のお知らせ

大会期間中とその前後に以下の研究会が予定されています。興味のある方はご自由にご参加下さい。

第44回メソ気象研究会

日時：2015年10月27日（火）大会前日 13:30～17:30

場所：キャンパスプラザ京都、第3講義室（JR京都駅そば）

（京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939）

テーマ：「最強の熱帯低気圧 Haiyan と Pam」

内容：今回のメソ気象研究会は、2013年にフィリピンに上陸し大災害をもたらした台風Haiyanと2015年に南太平洋のバヌアツに甚大な被害をもたらしたサイクロンPamに焦点をあてた。これらは記録に残る最強の低緯度の熱帯低気圧であるが、日本に災害をもたらす台風と異なり日本では情報が少ない。しかしながら、低緯度の熱帯低気圧を知ること、地上の最強の熱帯低気圧を知ることという点で重要であるだけでなく、将来の温暖化気候における台風を知ることにもつながるといって重要である。今回は最強の熱帯低気圧の“実態を知る”ことにテーマをしばり、多様な分野の方々に講演をお願いした。

気象学に限らず地球科学一般に、実態を知る上で現地をみるということは最も重要である。そこでフィリピンやバヌアツに現地調査に行かれた森氏（京大防災研）と島川氏（NHK）に、防災の観点から災害の実態を伝えるという視点から話題提供をお願いした。一方でデータから最強の台風の実態を知ること重要である。台風のデータといえば、気象界で知らない人はいない「デジタル台風」を開発・運営をされている北本氏（情報研）から、熱帯低気圧について情報をいかに読み解くかという観点からお話しただく。また、「実態を知る」ということはシミュレーションを排除しているわけではない。全球あるいは領域の数値モデルを用いて、観測やデータ解析だけでは得られない情報を取り出すこともまさに実態を知ることになる。そのような視点で中野氏（JAMSTEC）と吉岡氏（名大地球水循環）に、それぞれのモデルから分かる“実態”についてお話しただくことをお願いした。

プログラム：

趣旨説明：坪木和久（名古屋大学地球水循環研究センター）

講演：

1. 森信人（京都大学防災研究所）
「台風 Haiyan とサイクロン Pam による沿岸災害の調査と解析」
 2. 島川英介（NHK 社会部）
「現地取材から見てきた Haiyan と Pam の実像」
 3. 北本朝展（国立情報学研究所）
「デジタル台風：熱帯低気圧の実感に向けたデータの文脈化」
 4. 吉岡真由美（名古屋大学地球水循環研究センター）
「サイクロン Pam の高解像度シミュレーション」
 5. 中野満寿男（国立研究開発法人海洋研究開発機構）
「全球非静力学モデルで見る Pam の“実態”」
- コメントーター：小山亮（気象研究所）
「台風 Haiyan とサイクロン Pam の強度推定について」

世話人：坪木和久（名大地球水循環）、加藤輝之（気象研究所）、小倉義光（東大気海海洋研）

連絡先：坪木和久（名古屋大学地球水循環研究センター）

E-mail：tsuboki@rain.hyarc.nagoya-u.ac.jp

「極域・寒冷域」及び「観測システム・予測可能性」合同研究連絡会

日時：2015年10月28日（水）（大会第1日）セッション終了後2時間程度

場所：B会場

テーマ：「極域予測可能性研究に向けた現状と展望」

趣旨：2週間先までの社会的・経済的に影響の大きな気象の予報精度向上を目指した国際研究プログラム The Observing system Research and Predictability Experiment (THORPEX) は、ポーラーロウの予報精度向上など極域気象に焦点を充てた IPY-THORPEX としても貢献してきました。2012年にはWMOによって、IPY-THORPEX

を発展的に受け継ぐ Polar Prediction Project (PPP)が 10 年間の WWRP のプロジェクトとして設置されています。PPP 期間中の 2017 年から 2019 年には極域予測年 (YOPP: Year Of Polar Prediction) が予定されており、極域における観測研究と予測可能性研究の発展的融合が目前に迫っています。そこで、今回は「極域・寒冷域研究連絡会」と「観測システム・予測可能性研究連絡会」とが合同で研究連絡会を行います。3名の予測可能性研究の専門家をお招きし、これまでの THORPEX の日本での活動を振り返り、利用可能なデータ (TIGGE データや S2S データなど)、解析手法、及びその応用についてご講演頂き、極域予測可能性研究の現状と今後の展望について議論を交わす機会としたいと思います。

プログラム:

1. 「趣旨説明」
猪上淳 (国立極地研究所/海洋研究開発機構)
2. 「TIGGE および S2S データを使った予測可能性研究」
松枝未遠 (筑波大学/オックスフォード大学)
3. 「アンサンブル予報を用いた簡易予報感度解析」
榎本剛 (京大防災研/JAMSTEC APL)
4. 「日本付近で発達する爆弾低気圧の予測可能性」
吉田聡 (海洋研究開発機構)

連絡先: 西井和晃 (東京大学先端科学技術研究センター)
E-mail: nishii@atmos.rcast.u-tokyo.ac.jp

統合的陸域圏研究連絡会

日時: 2015 年 10 月 28 日 (水) (大会第 1 日) 18:00~20:00
場所: C 会場

テーマ: 「陸域関連モデルのデータ同化」

内容: 従来、陸域関連モデルの調整は経験的に行われることが少なくなかったが、近年、大気・海洋モデルで先行して発展したデータ同化を応用し、陸域圏のモデルにおけるパラメータ値を統計的に制約していく事例が徐々に増えてきており、この分野のモデルの性能向上へのさらなる貢献が期待されている。今回研究会では、陸域生態系 (植生+土壌) モデル、陸面・水文モデルについて二人の講演者を迎え、この分野のデータ同化応用の現状と課題、有効性、可能性を議論したい。(タイトルや講演者は変更になる場合があります)

プログラム:

- 1) 個体ベースモデル SEIB-DGVM を用いたデータ同化: その課題と展望
荒木田葉月 (理化学研究所)
- 2) マイクロ波による衛星水循環観測データを利用した陸域データ同化システム
澤田洋平 (東大)
- 3) 総合討論
コメンテーター: 加藤知道 (北大)

世話人: 伊勢武史 (京大), 市井和仁 (JAMSTEC), 大石龍太 (極地研/東大 AORI), 熊谷朝臣 (名大), 近藤雅征 (JAMSTEC), 佐藤 永 (JAMSTEC), 立入 郁 (JAMSTEC), 羽島知洋 (JAMSTEC)

連絡先: 立入 郁 (JAMSTEC)

E-mail: tachiiri@jamstec.go.jp

惑星大気研究連絡会

日時: 2015 年 10 月 31 日 (土) 09:00-16:00 (予定)

場所: 京都産業大学むすびわざ館 (四条大宮駅徒歩7分)

〒600-8533 京都府京都市下京区中堂寺命婦町1-10

<http://www.kyoto-su.ac.jp/outline/shisetsu/musubiwaza/>

(上賀茂キャンパスではありませんので、ご注意ください)

内容: 12月上旬に「あかつき」が金星周回軌道に再投入される運びとなりました。当初の計画とは異なる軌道からの観測となりますが、年明けから本格的な金星大気探査が開始される予定です。そこで、今回の研究連絡会では、Venus Express や地上望遠鏡による観測や理論研究によって得られた最近の成果を持ち寄り、金星大気探査の新たな計画について議論したいと思います。研究発表など、参加に興味のある方はご連絡をお願いします。詳細は決まり次第 ymn et 等でご案内します。以下の Web ページをご覧ください。
<http://wtk.gfd-dennou.org/>

なお、前日の 10/30 (金) 午前には、気象学会秋季大会において、スペシャルセッション『「あかつき」金星大気探査カウントダウン』が開催されます。こちらにもぜひご参加ください。よろしくお願いたします。
<http://msj.visitors.jp/>

連絡先: 高木 征弘 (京都産業大学理学部)

E-mail: wtk-staff@gfd-dennou.org

2016 年度春季大会の予告

2016 年度春季大会は、2016 年 5 月 18 日 (水) ~21 日 (土) に国立オリンピック記念青少年総合センターで開催される予定です。大会告示は「天気」12月号に掲載予定です。なお、春季大会の講演申し込み締め切りは 2016 年 2 月頃となる予定です。

大会第1日 10月28日(水) 9:30~12:30 スペシャル・セッション

A 会場

里村雄彦先生追悼セッション：非静力学数値モデルと熱帯モンスーン降水研究の発展のために

座長：重 尚一（京大院理）

趣旨説明 (5分)

- A101 岩崎 俊樹（東北大院理） NHM2000の運営と急峻な山岳の数値表現
- A102 山崎 弘恵（ICL） カットセル法を用いた3次元非静力学大気モデルの開発
- A103 石岡 圭一（京大院理） 非線形定常山岳波解の高精度数値計算とその高速化について
- A104 武村 一史（京大院理） 重合格子法を用いた非静力学モデルへの雲微物理過程の導入
- A105 那須野 智江（JAMSTEC） 全球非静力学数値実験における台風の中心気圧低下の開始過程
- A106 竹見 哲也（京大防災研） 現実気象条件での複雑地表面上の大気乱流・拡散LES解析
- A107 伊東 瑠衣（京大防災研） 盆地都市でみられる気温の急低下と停滞の様相
- A108 小郷原 一智（滋賀県大） 火星ダストヘイズの拡大シミュレーション

休憩

座長：竹見 哲也（京大防災研）

趣旨説明 (5分)

- A109 松本 淳（首都大院都市環境） 熱帯モンスーンアジアにおける地形と降水日変化
- A110 寺尾 徹（香川大教育） アジアモンスーン域における降水日変化メカニズムの研究
- A111 横井 覚（JAMSTEC） インドシナ半島における季節内変動の地理的分布
- A112 高橋 洋（首都大） インドシナ半島西岸における日変化降水システムの季節内変動擾乱による変調
- A113 重 尚一（京大院理） マイクロ波放射計降雨量推定アルゴリズム開発から見たアジアモンスーン域の地形性降雨
- A114 谷田貝 亜紀代（地球研） APHRODITE降水量をFSUマルチモデルスーパーアンサンブル手法に適用したアジアモンスーン降水予報の改善
- A115 久保田 尚之（JAMSTEC） フィリピンにおけるモンスーンオンセット-PALAU2013の集中観測と過去111年間のデータレスキュー

大会第1日 10月28日(水)

9:30~12:30

一般口頭発表

B 会場

気候システム I

座長：日比野 研志（筑波大学）

- B101 塩竈 秀夫 (環境研) 気候変動予測の不確実性を、いつまでにどれだけ低減できるか？
- B102 石崎 紀子 (防災科研) 統計的手法を用いた確率的気候変化情報の推定
- B103 水田 亮 (気象研) 60km全球大気モデルによる多数メンバーのアンサンブル気候実験
- B104 今田 由紀子 (気象研) 高解像度MRI-AGCMアンサンブル実験による日本域の過去の10年規模イベントの要因分析
- B105 村田 昭彦 (気象研) 地域気候モデルによる多数メンバーのアンサンブル気候実験
- B106 川瀬 宏明 (気象研) 4°C上昇した気候下での日本の極端降雪の変化
- B107 日比野 研志 (筑波大生命環境) 21世紀末における極端降水のノンパラメトリック推定
- B108 尾瀬 智昭 (気象研) 海面水温や陸面温度と関連するアジア域降水量の将来変化
- B109 遠藤 洋和 (気象研) 高分解能AGCMによるマルチSST・積雲スキームアンサンブル温暖化実験：モンスーン降水の変化
- B110 栗原 和夫 (気象研) 温暖化時の梅雨前線の位置の変化（地域気候モデル・アンサンブル実験による）
- B111 若月 泰孝 (筑波大アイソ) 気候差分ダウンスケーリング法による領域気候変化予測とその検証
- B112 牛山 朋来 (土研ICHARM) 利根川流域における温暖化実験結果の力学的ダウンスケーリング

大会第1日 10月28日(水) 9:30~12:30 一般口頭発表

C 会場

観測手法

座長：藤原 正智（北海道大学大学院）

- C101 上條 賢一（東洋大） 気象観測時系列における変動特性解析のための一方法—LFDの分散分析法とその適用—
- C102 大内 麻衣（名大STE研） 小型気球CO₂計測装置の開発と大気CO₂の高度分布の計測
- C103 長澤 親生（首都大システムデザイン） 赤道域対流圏界面領域のDIAL によるオゾン鉛直分布測定（2）
- C104 藤原 正智（北大地球環境） 雲粒子ゾンデCPSによる熱帯および中緯度における雲観測
- C105 民田 晴也（名大地球水循環） 降雪粒子の立体形状と落下速度計測
- C106 山下 克也（防災科研雪氷） 雪氷防災のための集中豪雪監視システム開発
- C107 長崎 岳人（高エネ研） 電波天文学技術を応用した高感度マイクロ波放射計による次世代大気観測
- C108 酒井 哲（気象研） 局地的大雨予測のための可搬性に優れた次世代型水蒸気ライダーの開発
- C109 佐藤 晋介（NICT） フェーズドアレイ気象レーダーのデータ品質管理～概要と方針～
- C110 小池 哲司（気象庁観測部） ウィンドプロファイラレーダーの新しい異常エコー判別方法について
- C111 下地 和希（衛星センター） ひまわり8号大気追跡風プロダクトの紹介
- C112 高橋 昌也（衛星センター） ひまわり8号可視赤外データの校正・検証と全球衛星搭載センサー相互校正システム（GSICS）
- C113 広瀬 民志（千葉大CEReS） ひまわり8号マルチチャンネルによる降雨強度推定
- C114 大野 裕一（NICT） アースケア衛星搭載雲レーダのビーム内エコー強度不均一のドップラ補正(2)
- C115 可知 美佐子（JAXA/EORC） GSMaPナウキャスト版（GSMaP_NOW）と再解析版（GSMaP_RNL）の開発

大会第1日 10月28日(水) 9:30~12:30 一般口頭発表

D 会場

降水システム I

座長：大東 忠保 (名古屋大学)

- D101 田尻 拓也 (気象研) 黄砂イベント時の大気エアロゾルの氷晶核能 (その3)
- D102 村上 正隆 (気象研) 大気エアロゾルの吸湿度と雲核能の地域・季節特性
- D103 當房 豊 (極地研) コールドプレート実験に基づいた氷晶核計測法の評価
- D104 山下 晃 (無所属) 隣接面過程 (AFP) と雪の結晶成長
- D105 平沢 尚彦 (極地研) SPICEサイト・陸別における降雪量観測 (続報)
- D106 野々村 達也 (大教大院総合基礎科学) 光学式雨量計を用いた降雪粒子の形状推定と検証
- D107 本吉 弘岐 (防災科研雪氷) 光学式ディストロメータを用いた霰の含水状態の解析について
- D108 鈴木 祐人 (名大地球水循環) 雲粒子ゾンデHYVISにより観測された台風上部巻雲の数濃度の水平分布の特徴
- D109 大東 忠保 (名大地球水循環) 一層の混相域をもつ北極域混相雲の降水の特徴

座長：大西 領 (海洋研究開発機構)

- D110 王 家瑞 (東大院理) Simulation of droplet multiphase flow using immersed boundary method
- D111 大西 領 (JAMSTEC) 雲乱流がautoconversion率を増大させる効果に対する数値研究
- D112 佐藤 陽祐 (理研計算科学) Autoconversionが暖かい降水に与える影響の領域間比較
- D113 鈴木 健太郎 (東大大気海洋研) 全球雲解像モデルにおける降雨量の雲粒数密度への感度
- D114 端野 典平 (九大応力研) Numerical study of motion and stability of falling columnar crystals
- D115 飯田 友 (琉球大院理工) 粒子の成長を伴う雷雲内粒子ダイナミクス
- D116 林 浩平 (防衛大 地球海洋) 人工降雨の手法を用いた豪雪軽減シミュレーション

大会第1日 10月28日(水) 13:30~17:00 スペシャル・セッション

A 会場

温室効果気体研究の観測・測定技術の進展による新たな展開

座長：町田 敏暢（環境研）

- A151 中澤 高清（東北大院理） 温室効果気体循環に関する最近の知見と課題
- A152 澤 庸介（気象研） 民間航空機を用いた温室効果気体の広範囲モニタリング
- A153 菅原 敏（宮教大） インドネシア上空成層圏の温室効果気体と重力分離の観測
- A154 遠嶋 康徳（環境研） 大気中酸素濃度の観測に基づく研究と課題
- A155 石戸谷 重之（産総研） 気候変動と炭素循環の包括的評価を目指した大気中アルゴン濃度と酸素濃度の高精度観測
- A156 豊田 栄（東工大総理工） 大気中一酸化二窒素の同位体分子種（isotopocule）の長期観測
- A157 藤谷 徳之助（環境研） 「温室効果ガスの標準ガスの相互比較実験（iceGGO）」活動の概要
- A158 下坂 琢哉（産総研） 質量比混合法によるSIトレーサブルな大気観測用標準ガスの開発
- A159 小出 寛（気象庁環境気象） WMO温室効果ガス世界資料センターのデータ管理と利用
- A160 坪井 一寛（気象研） 気象庁における温室効果ガスの定常観測と今後の展開
- A161 寺尾 有希夫（環境研） アジア域への温室効果ガス観測の展開

座長：森本 真司（東北大院理）

- A162 川村 賢二（極地研） アイスコアからの空気抽出・分析技術における最近の進展
- A163 石井 雅男（気象研） 気象研究所・気象庁による海洋CO₂変動の長期観測
- A164 中岡 慎一郎（環境研） 海洋表層CO₂観測と広域分布推定研究の動向
- A165 宮田 明（農環研） 陸域での温室効果気体のタワーフラックス観測の現状と展望
- A166 吉田 幸生（環境研） GOSAT TANSO-FTS SWIR による温室効果ガスカラム平均濃度観測と今後の展望
- A167 齋藤 尚子（千葉大CEReS） GOSAT/TANSO-FTS TIRバンドから得られるCO₂およびCH₄の上空濃度データの有用性
- A168 森野 勇（環境研） 地上設置高分解能フーリエ変換分光計を用いた温室効果気体観測ネットワーク：TCCON (Total Carbon Column Observing Network)
- A169 阿保 真（首都大システムデザイン） ライダーによる大気境界層内のCO₂濃度高度分布の連続観測
- A170 小田 知宏（USRA/NASA GSFC） 人為起源二酸化炭素排出から見る炭素循環研究
- A171 丹羽 洋介（気象研） NICAM-TM 4D-Varを用いたCO₂フラックス推定における観測データのインパクト評価
- A172 林田 佐智子（奈良女子大理） 衛星と現地観測による大気メタンデータの活用～南アジアにおける新展開～

大会第1日 10月28日(水)

13:30~17:00

一般口頭発表

B 会場

気候システムⅡ

座長：今田 由紀子（気象研究所）

- B151 今田 由紀子（気象研） 太平洋十年規模変動に伴う南太平洋の偏差がENSO予測に与える影響
 B152 前田 修平（気象研） 2014年のエルニーニョ現象の成長を抑制した強いITCZ
 B153 卜部 佑介（気象庁気候情報） SVD解析によるITCZの主要変動パターン抽出
 B154 安田 珠幾（気象庁気候情報） 季節予測モデルにおけるITCZ変動に伴う大気海洋変動場の再現性
 B155 谷本 陽一（北大院地球環境） 東部熱帯太平洋の海面水温偏差場に見られる南北ダイポールの年々変動特性
 B156 望月 崇（JAMSTEC） 十年スケール気候変動におけるインド洋から太平洋への影響の可能性
 B157 関澤 偲温（東大先端研） 熱帯北西太平洋における対流活動変動に伴う熱帯から冬季東アジアへの遠隔影響
 B158 釜堀 弘隆（気象研） 再解析における熱帯低気圧の強度再現性

座長：庭野 匡思（気象研究所）

- B159 内山 常雄（気象予報士会） 日本と世界の気温変動の比較
 B160 藤部 文昭（首都大） 低温による国内死者数と冬季気温の長期変動
 B161 藤部 文昭（首都大） 日本の極端降水の季節変化特性
 B162 名越 利幸（岩手大教育） 岩手北上川流域に沿った防風林の分布と風
 B163 松本 健吾（岡山大院教育） 梅雨最盛期と盛夏期の東日本における大雨日の降水特性と総観場の気候学的解析（長期解析も含めて）
 B164 加藤 内蔵進（岡大・教育・理科） 東アジアとの比較の視点でみたドイツ付近の冬から夏への季節進行の解析（季節感を接点とする文化理解教育の背景として）
 B165 小嶋 ゆう実（岡山大教育） 東アジアとの比較気候学的視点でみたヨーロッパの低気圧活動やその基本場の季節サイクル(2000年の事例解析)
 B166 濱木 達也（岡山大院教育） 冬から春へのシベリア高気圧の季節的な衰退過程に関する解析(早春頃の日々の変動に注目して)
 B167 青木 輝夫（気象研） 近年におけるグリーンランド氷床アルベド低下の原因 - 積雪粒径変化の標高依存性 -
 B168 庭野 匡思（気象研） 急激な表面融解イベントが発生した2012年夏期の北西グリーンランド SIGMA-Aサイトにおける雪面熱収支
 B169 橋本 明弘（気象研） グリーンランド領域気候モデルの開発
 B170 阿部 彩子（東大大気海洋研） 氷期の海洋深層循環と気候形成メカニズム

大会第1日 10月28日(水) 13:30~17:00 一般口頭発表

C 会場

中層大気

座長：眞子 直弘（千葉大学）

- C151 小濱 里沙 (環境研) TOMSとMIROC3.2ナッジング化学気候モデルによるオゾン全量の季節別全球トレンドマップ
- C152 直江 寛明 (気象研) CCM1シナリオにおけるオゾンQBO
- C153 坂崎 貴俊 (京大生存圏研) 熱帯成層圏の帯状一様潮汐
- C154 坂崎 貴俊 (京大生存圏研) 北半球中緯度の春季に見られる日周期東進現象
- C155 河谷 芳雄 (JAMSTEC) 複数の再解析データを用いた赤道域成層圏東西風の比較と検証
- C156 三村 慧 (北大院環境) 熱帯対流圏界層における高氷晶数密度巻雲の生成条件の考察
- C157 安田 勇輝 (東大院理) 再解析データに基づいた球面順圧準地衡モデル実験によるスプリット型成層圏突然昇温の再現
- C158 安田 勇輝 (東大院理) 統計力学理論に基づくスプリット型成層圏突然昇温の新解釈
- C159 澁谷 亮輔 (東大院理) 南極昭和基地大型大気レーダーによって観測された中間圏重力波と中層大気NICAMによる再現実験
- C160 澁谷 亮輔 (東大院理) 極域一様等方格子の形成とSchmidt変換との接続条件
- C161 鈴木 睦 (宇宙研) THz帯における成層圏-下部熱圏の気温・風・微量気体計測の感度解析
- C162 Baron Philippe (NICT) Simulation study for wind measurements of the middle and upper atmosphere (between 20 to 150 km) with sub-millimeter and THz limb sounding: Observation requirements for SMILES-2 and a micro-satellite for Mesosphere-Thermosphere observations.
- C163 今井 弘二 (宇宙研) 日食を利用した太陽光変化の中間圏オゾンへの影響について

中高緯度大気

座長：山森 美穂（都留文科大学）

- C164 南原 優一 (東大院理) PANSYレーダーで観測された対流圏成層圏風速擾乱の周波数スペクトル解析
- C165 山森 美穂 (都留文大) ラジオゾンデデータを用いた南極昭和基地上空対流圏下層の水平風変動の統計解析
- C166 宮川 真友 (奈良女子大院人間文化) 南極昭和基地及び北極ニーオルスンにおける雲の特徴
- C167 安藤 雄太 (三重大院生物資源/極地研) 初冬の日本に影響を与える大気循環と周辺の海面水温の季節変化
- C168 本田 明治 (新潟大理) 2014年2月14日~15日の関東甲信地方に長時間降雪をもたらした総観場・大気循環場の特徴

大会第1日 10月28日(水)

13:30~17:00

一般口頭発表

D 会場

気象予報・データ同化

座長：近藤 圭一（理研計算科学）

- D151 近藤 圭一 (理研計算科学) LETKFを用いたDual Localization法と10240メンバーによる誤差相関の比較
- D152 前島 康光 (理研計算科学) ビッグデータ同化システムを用いた局地的豪雨発生過程のシミュレーション
- D153 国井 勝 (気象研) 領域大気海洋結合モデルを用いたアンサンブルカルマンフィルタの構築 (第2報)
- D154 LIEN GUO-YUAN (理研計算科学) Development of the SCALE-LETKF for high-resolution data assimilation
- D155 寺崎 康児 (理研計算科学) NICAM-LETKFシステムを使った解像度28kmのデータ同化実験
- D156 小槻 峻司 (理研 AICS) NICAM-LETKFを用いた全球降水マップGSMaPデータの同化実験
- D157 大塚 成徳 (理研計算科学) データ同化手法を用いたGSMaP降水データの時空間補外実験
- D158 上清 直隆 (気象研) ハイパースペクトルサウンダーAIRSの雲域同化実験
- D159 川畑 拓矢 (気象研) Data Assimilation of Polarimetric Radar Data with WRF-Var
- D160 レ デュック (JAMSTEC) B-preconditioned conjugate gradient, an efficient preconditioning for Hybrid-4DVAR and Hybrid-4DnVAR
- D161 折口 征二 (気象研) EnVA実験に向けたレーダーの反射強度による位置ずれ補正について

座長：石橋 俊之（気象研究所）

- D162 石橋 俊之 (気象研) 全球大気解析における観測情報の拡充に向けて
- D163 石川 洋一 (JAMSTEC/CEIST) 北西太平洋海洋長期再解析 (FORA-WNP30) 1. データ同化システムとプロダクトの概要
- D164 荒木田 葉月 (理研計算科学) 植生モデルSEIB-DGVMへの観測LAIデータの同化実験
- D165 芳村 圭 (AORI) 雲量データ同化による観測インパクト
- D166 本田 匠 (理研計算科学) SCALEを用いた豪雨シミュレーションの雲微物理パラメータ依存性
- D167 山下 浩史 (気象庁数値予報課) 衛星搭載ドップラー風ライダーから算出される風データの現業数値予報における利用の検討
- D168 竹内 義明 (気象研) 複数の次世代非静力学全球モデルを用いた高解像度台風予測実験
- D169 山岸 孝輝 (RIST) 雲解像モデルCReSSのGPU適用と最適化に向けて
- D170 榎本 剛 (京大防災研) フーリエ・ルジャンドル法によるルジャンドル多項式の誤差特性

大会第2日 10月29日(木)

9:05~12:00

一般口頭発表

A 会場

降水システムⅡ

座長：清野 直子（気象研究所）

- A201 廣川 康隆（仙台管区气象台）降水システム形成に寄与する渦位場の特徴
- A202 津口 裕茂（気象研）集中豪雨が発生する総観～メソ α スケール環境場の統計解析（その2）
-7・8・9月の西日本について -
- A203 加藤 輝之（気象研）平成26年8月20日広島での大雨をもたらした線状降水帯の停滞要因
- A204 加藤 輝之（気象研）線状降水帯が発生しやすい条件
- A205 高咲 良規（立正大地球環境）2013年8月9日秋田・岩手県の大雨の発生に関する考察
- A206 勝野 継太（名大地球水循環）2013年9月4日に岐阜県大垣市で観測された短時間強雨の特徴
- A207 清野 直子（気象研）首都圏の夏季降水に対する都市の効果（4）－コンポジット解析による降水強化要因の考察－
- A208 荒木 健太郎（気象研）南岸低気圧による関東大雪時の総観・メソスケール環境場の統計解析
- A209 二宮 洸三（無所属）東シナ海域の寒気内meso-scale低気圧(PMC)
- A210 石坂 雅昭（防災科研 雪氷）降雪モードと主要降雪粒子－TモードからLモードへ－
- A211 畠山 光（新潟大院）冬季日本海側に発生した帯状降雪雲の特徴－2013年1月9日の事例－
- A212 安永 数明（富山大理）北陸地域における冬季の降水パターンの時・空間変動に関する研究
- A213 中井 専人（防災科研・雪氷）2014年2月14日南岸低気圧時の長岡におけるZdrの鉛直変化
- A214 荒木 健太郎（気象研）地上マイクロ波放射計1DVARによる非降水時・降水時の大気熱力学場解析
- A215 松本 幸大（損保料率機構）台風時の降雨量推定手法に関する研究

大会第2日 10月29日(木)

9:05~12:00

一般口頭発表

B 会場**気候システムⅢ**

座長：清水 達也（海洋研究開発機構）

- B201 楠 昌司 (気象研) モデルの水平高解像度化で降水の再現精度は向上するか？
- B202 清水 達也 (JAMSTEC) 熱帯上の巻雲シミュレーションに必要な鉛直解像度の評価
- B203 新藤 永樹 (気象研) 気象研究所全球気候モデルの大気境界層スキームの改良(2)
- B204 川合 秀明 (気象研) 全球の海霧の将来変化
- B205 橋本 明弘 (気象研) 多次元ビン法NHMによる氷粒子の表現
- B206 大垣内 るみ (JAMSTEC) MIROC-ESMをもちいた最終氷期最大期のダスト分布再現性と高緯度における沈着量に影響を与える要因解析
- B207 樫村 博基 (JAMSTEC) 成層圏SO₂注入による気候工学の影響：GeoMIP-G4実験の解析

気象教育

座長：高橋 庸哉（北海道教育大学）

- B208 草薙 浩 (京都ウェザー) 気温の特性値（年気温・年較差）のクラスター分析による日本の地域区分
- B209 齊藤 昭則 (京大院理) 地球立体表示システムを用いた気象に関する授業及び展示
- B210 高橋 庸哉 (北教大) 小学校5年生理科での年間全球衛星画像の活用～小学生は何を読み取ることができるか？

大会第2日 10月29日(木)

9:05~12:00

一般口頭発表

C 会場

大気力学

座長 : 伊賀 啓太 (東京大学大気海洋研究所)

- C201 板野 稔久 (防衛大地球海洋) 円筒形の渦sheet上の非軸対称擾乱の最適励起
- C202 伊賀 啓太 (東大大気海洋研) 円筒容器内で回転する円盤上の軸対称流の理論解析の実験データによる検証
- C203 雨宮 新 (東大院理) アジアモンスーン高気圧付近における慣性不安定の発生条件の解析
- C204 松嶋 俊樹 (京大院理) 境界条件に柔軟な高精度半無限領域スペクトル法モデルの開発と検証
- C205 相木 秀則 (JAMSTEC/APL) 全ての緯度帯の波を対象としたEliassen-Palm理論とビリアル定理
- C206 木下 武也 (NICT) 温位面上の質量重みつき時間平均系の擾乱の伝播を記述する3次元波活動度fluxの導出

大気放射

座長 : 関口 美保 (東京海洋大学)

- C207 関口 美保 (海洋大) 狭帯域放射伝達モデルRstarと偏光放射伝達モデルPstarの統合と更新
- C208 谷垣 悠介 (東海大TRIC) GCOM-C1/SGLIセンサーと非球形の雲粒の散乱を考慮した雲の放射伝達モデルおよび雲判別システムの現状と展望
- C209 石元 裕史 (気象研) OCAによるひまわり8号雲解析とライダー観測による氷晶モデルの推定
- C210 久慈 誠 (奈良女子大) エアロゾルの光学観測による視程の検証
- C211 工藤 玲 (気象研) エアロゾルの鉛直分布が大気境界層へ与える影響
- C212 工藤 玲 (気象研) 全天カメラによる日射の輝度分布測定

大会第2日 10月29日(木)

9:05~12:00

一般口頭発表

D 会場

環境気象・大気境界層

座長：重田 祥範（鳥取環境大）

- D201 中村 貴 (気象庁環境気象) 気象庁「二酸化炭素分布情報」の高度化について
- D202 重田 祥範 (鳥取環境大) 岡山地方気象台の移転にともなう気温の階級別日数・時間数の変化予測
- D203 小松 麻美 (気象協会) 気象予測の不確実性をふまえた積雪変質モデルの予測可能性について～2015年1月31日宮城県作並地区の雪崩災害による検討～
- D204 板橋 秀一 (電中研) 排出量強度に対するオゾン濃度応答の非線形性の数値解析
- D205 川端 康弘 (気象研) 気象研究所で長期観測した地表面熱フラックス
- D206 萩野谷 成徳 (気象研) 気象研究所露場で観測したフラックスの空間代表性
- D207 岩井 宏徳 (NICT) ドップラーライダーにより観測された海上風中の波状構造
- D208 西 暁史 (筑波大生命環境) 局地風「空っ風」の強風域と山岳形状の関係
- D209 松井 亜貴 (東京学芸大院) 富士山で見られる笠雲と山岳波のフルード数依存性
- D210 伊藤 純至 (気象研) 台風全域LESで再現された台風境界層内のロール構造
- D211 伊東 瑠衣 (京大防災研) 2004年18号台風による強風の再現に対するモデル解像度の影響

大会第3日 10月30日(金) 9:30~11:30 一般口頭発表

A 会場

熱帯大気・台風 I

座長：嶋田 宇大（気象研究所）

- A301 嶋田 宇大（気象研）先島諸島で一時的に再発達した2015年台風第6号の観測的研究
- A302 森 一正（高層台）台風Yancy(T9313)の初期発達過程の解析-啓風丸 I レーダー観測と数値実験結果を用いて-
- A303 竹見 哲也（京大防災研）2015年3月に南太平洋・バヌアツを襲ったサイクロン・パムの再現実験
- A304 和田 章義（気象研）2013年台風第18号(MAN-YI)の急発達に関する数値シミュレーション
- A305 坪木 和久（名大地球水循環）非静力学大気海洋結合モデルを用いた低緯度の台風第1330号Haiyanのシミュレーション実験
- A306 加藤 雅也（名大地球水循環）雲解像モデルを用いた伊勢湾台風の擬似温暖化実験
- A307 金田 幸恵（名大地球水循環）西部北太平洋域における台風の強度特性と気象庁全球気候20kmモデルによる再現性：続報 高解像度モデルで再現された強い台風の強度変化と内部コア構造
- A308 大野 知紀（東大大気海洋研）全球非静力学モデル高解像度通年積分において形成された熱帯低気圧の暖気核構造
- A309 宮本 佳明（理研計算科学）熱帯低気圧の外側壁雲形成を模した軸対称一層浅水系における数値実験
- A310 筆保 弘徳（横浜国大）回転水槽実験と台風モデルで再現された台風内部コアの非軸対称構造
- A311 辻 宏樹（九大院理）台風の大きさの変化と降水分布の関係

大会第3日 10月30日(金) 9:30~11:30 スペシャル・セッション

B 会場

熱帯・中高緯度、成層圏・対流圏結合変動過程と異常気象の予測可能性

趣旨説明 (5分)

座長：西井 和晃（東大先端研）

- B301 中澤 哲夫 (NIMR) WCRP-WWRP季節内～季節予報プロジェクト(S2S)について
- B302 松枝 未遠 (筑波大学/University of Oxford) 冬季東アジア域における天候レジームの予測可能性
- B303 吉田 聡 (JAMSTEC/APL) 北太平洋での爆弾低気圧活動長期変動
- B304 松村 伸治 (北大院地球環境) 北西太平洋SST変動に対する梅雨降水帯の応答
- B305 中野渡 拓也 (極地研, 北大低温研) 初冬ベーリング海の海氷変動の予測可能性：夏季の大気循環場の重要性

休憩

座長：吉田 聡 (JAMSTEC)

- B306 宮坂 貴文 (東大先端研) 北大西洋湾流域の鉛直流に対する力学・熱力学的寄与
- B307 西井 和晃 (東大先端研) オホーツク海の海氷減少に対する大気応答
- B308 菅野 湧貴 (東北大院理) 東アジアの寒気流出と中高緯度の子午面循環の構造
- B309 原田 やよい (気象研) JRA-55を用いた北半球冬季の惑星規模波動の伝播特性解析 (第2報) ～2013/14年北半球冬季に見られた東西波数2の卓越に着目して～
- B310 黒田 友二 (気象研) 太陽活動が冬季北大西洋振動に与える影響—WACCMによる数値実験—

総合討論 (10分)

大会第3日 10月30日(金) 9:30~11:30 スペシャル・セッション

C 会場

「あかつき」金星大気探査カウントダウン

座長：高木 征弘（京都産業大理）

- C301 中村 正人 (宇宙研) 金星探査機「あかつき」の金星周回軌道再投入について
- C302 松田 佳久 (東京学芸大自然科学) 金星の大気力学
- C303 今村 剛 (宇宙研) 「あかつき」が挑む金星大気科学
- C304 山崎 敦 (宇宙研) 金星探査機あかつき搭載紫外イメージャ (UVI) の概要と科学目標
- C305 佐藤 毅彦 (宇宙研) あかつきIR2カメラによる金星大気科学
- C306 田口 真 (立教大) 「あかつき」搭載中間赤外カメラが目指すサイエンス
- C307 高橋 幸弘 (北大) あかつきLACによる金星雷放電観測へ向けて
- C308 今村 剛 (宇宙研) 金星探査機「あかつき」の電波掩蔽観測計画
- C309 佐川 英夫 (京都産業大学) 地上望遠鏡を利用した金星大気観測：あかつき到着後の地上観測の位置付け
- C310 高木 征弘 (京都産業大理) 金星大気スーパーローテーションのメカニズム
- C311 山本 勝 (九大応力研) 金星大気大循環モデルの相互比較
- C312 杉本 憲彦 (慶應日吉物理) 金星上層大気中の波
- C313 神山 徹 (産総研) 雲追跡技法の利用と金星雲頂高度での風速構造
- C314 堀之内 武 (北大院地球環境) 雲追跡による金星大気力学の研究：あかつきへの展望
- C315 樫村 博基 (JAMSTEC) 簡易金星版AFES高解像度計算における運動エネルギーの波数間収支
- C316 杉山 耕一朗 (宇宙研) 金星雲層を想定した鉛直対流の3次元数値計算

大会第3日 10月30日(金)

9:30~11:30

一般口頭発表

D 会場

降水システムⅢ

座長：足立 透（気象研究所）

- D301 楠 研一（気象研） フェーズドアレイレーダーのための竜巻渦3次元探知・追跡アルゴリズムの提案
- D302 楠 研一（気象研） 突風をもたらす渦探知・追跡アルゴリズムへのXRAINデータの適用実験－研究計画と初期実験－
- D303 藤原 忠誠（東日本旅客鉄道） 冬季庄内地域で渦を伴った降水エコーの形態と総観場の特徴
- D304 石津 尚喜（気象研） ドップラーレーダーで観測された冬季庄内平野に上陸する渦の統計的研究
- D305 足立 透（気象研） フェーズドアレイレーダーを用いたダウンバーストの超高速観測：ノッチ構造の立体的形成と低層の外出流の関係
- D306 吉田 翔（気象工学） フェーズドアレイ気象レーダを用いた3次元移流予測
- D307 小林 文明（防大地球） 2015年2月13日厚木市で発生した突風被害
- D308 益子 渉（気象研） 2013年台風第18号に伴って発生したミニスーパーセルの構造
- D309 PHAM VAN PHUC（清水建設） WRFによる2012年5月6日に発生した竜巻の再現解析
- D310 岩崎 博之（群馬大学教育） 春期の西部ヒマラヤ山脈周辺に見られる雷活動の極大
- D311 牛尾 知雄（阪大院工） 国際宇宙ステーションからの雷放電と高高度発光現象の観測

大会第3日 10月30日(金) 13:30～17:00 一般口頭発表

A 会場

熱帯大気・台風Ⅱ

座長：小山 亮（気象研究所）

- A351 山口 宗彦（気象研）鉛直シア下で急発達する台風の進路予報誤差
 A352 沢田 雅洋（気象研）簡易軸対称台風モデルCHIPSの台風強度予報誤差とその利用法
 A353 伊藤 耕介（琉大・理）RSMC Tokyo台風強度予報誤差データベースの構築とMPIを用いた補正
 A354 伊藤 耕介（琉大・理）局所化を適用したHybrid EnKF-4DVarデータ同化システムによる極端現象予測
 A355 青梨 和正（気象研）Neighboring Ensembleに基づく変分同化法を使った2014年台風11号事例への衛星雲・降水観測データの同化実験（その2）
 A356 小山 亮（気象研）ドボラック法及びAMSUによる台風強度推定のコンセンサスの開発
 A357 北畠 尚子（気象研）沖縄近海を進む台風の構造と環境場の関係
 A358 山岬 正紀（気象研）台風の発生に対する環境場の効果（第2報）
 A359 杉 正人（気象研）高解像度AGCMの台風発生過程
 A360 尾形 友道（筑波大院生命環境）気候モデルで再現される台風気候値における大気海洋結合効果
 A361 熊澤 里枝（横浜国大）1900年から2014年における日本の台風上陸数（2）

座長：金丸 圭矢（JAXA/EORC）

- A362 初塚 大輔（名大院環境）バングラデシュにおける渦状低気圧の発生と2つの季節内振動モードの関係
 A363 茂木 耕作（JAMSTEC/DCOP）MJOの東進機構の仮説～CINDY2011で観測された10月の事例解析から～
 A364 清木 亜矢子（JAMSTEC）南東インド洋冷却によるMJO対流抑制
 A365 山中 大学（JAMSTEC/神大理）海大陸における地形と対流のスケール多重性
 A366 金丸 圭矢（JAXA/EORC）TRMM PR とTMI から推定された降水量の経年変動の違いについて
 A367 西 憲敬（福岡大理）静止衛星データを用いた長期雲データベースの作製(2)
 A368 鈴木 順子（JAMSTEC）西太平洋の上部対流圏にみられる赤道ケルビン波の経年変動性
 A369 稲飯 洋一（北大院地球環境）東部/西部熱帯太平洋の対流圏における二酸化炭素分布と大気輸送過程
 A370 小柴 厚（筑波大院生命環境）JRA-55 の速度ポテンシャルによるWalker 循環の評価

大会第3日 10月30日(金) 13:30~17:00 スペシャル・セッション

B 会場

防災気象情報～情報をつくる・伝える・使う工夫～

座長：川邊 昭治（日本気象予報士会），岡留 健二（JR西日本）

- B351 東 邦昭 (京大生存研) 高分解能数値シミュレーションによる比良おろしの3次元大気構造の解明
- B352 岡留 健二 (JR西日本) 比良おろし予測時・発生時における湖西線の運行管理—JR西日本の取組み—
- B353 宮永 健太郎 (滋賀県琵琶湖センター) 突風災害と情報—比良おろし研究プロジェクトを通じて見えてきたこと—
- B354 矢野 謙也 (京大生存研) WRF-LESへのドップラー・ライダーデータ同化による都市域の局地気象現象の再現実験
- B355 小池 佳奈 (MTI) フェーズドアレイ気象レーダの3次元データ配信スマホアプリによる実証実験
- B356 道本 光一郎 (ウェザー・サービス) フェーズドアレイ気象レーダー (PAWR) 等を利用した高密度四次元気象予測手法とそれに基づく防災情報提供に関する研究 (続報)
- B357 藤田 友香 (株)LBW) 霜害を減らすための気象情報
- B358 堀江 祐圭 (気象協会) カラーユニバーサルデザインから考える, 気象情報の設計について
- B359 安福 英俊 (神戸市須磨消防署) 風水害に対する地方自治体の対応と防災気象情報の活用について
- B360 梶浦 正憲 (サンテレビ) データ放送自動表示による避難情報提供の実証実験
- B361 龍山 康朗 (r k b) 「伝わる」防災情報とは・・・気象予報士の役割

座長：難波 良彰（日本気象予報士会），森田 秀樹（日本気象予報士会）

- B362 中山 秀晃 (気象予報士会) WebGISを活用した気象情報データベースの構築と活用
- B363 富山 芳幸 (気象環境教育センター) 誤った想定：気象学とリスクとの間のすきま
- B364 白石 晶二 (気象予報士会) 気象災害から命を守る (その2)
- B365 楠田 雅紀 (観測予報管理官室) 地方気象台での防災・減災の取り組みについて
- B366 植松 久芳 (東海支部) ～ 災害からいかに「逃げ時」を見極めるか～タイムラインとDIGの手法を活用して, 自らの避難行動計画を策定する
- B367 荒川 知子 (田園調布学園) アクティブ・ラーニング型気象教育による防災意識の向上
- B368 永井 秀行 (沖縄球陽高) 学校生活における最新気象情報の利活用促進を目指した教育実践
- B369 奥村 政佳 (横浜国大) 未就学児童に対する保育園における気象教育～天気予報を利活用した科学技術コミュニケーション～
- B370 山本 由佳 (気象予報士会) 母親対象の防災意識等に関する調査

大会第3日 10月30日(金) 13:30~17:00 スペシャル・セッション

C 会場

気象予測・観測技術の再生可能エネルギー分野への応用

座長：中島 孝（東海大）

- C351 *中島 孝 (東海大TRIC) エネルギー・マネジメントにおける気象学の役割
 C352 高根 雄也 (産総研) 都市気候・建物エネルギー連成数値モデルによる電力需給予測へ向けた取り組み
 C353 宇田川 佑介 (東大生産研) 太陽光発電が大量導入された電力系統における需給運用に日射量予測値が与える影響
 C354 富山 芳幸 (気象環境教育センター) 確率予報の経済価値：再エネ電源と不確実性のマネジメント

座長：嶋田 進（産総研）

- C355 *吉田 健二 (CTC) 風力発電出力予測へのアナログアンサンブル手法の適用
 C356 門倉 真二 (電中研) 風力発電出力予測の高度化—再生可能エネルギー大量導入時の電力需給運用に向けて—
 C357 小笠原 範光 (気象協会) 風力発電出力の急変現象の要因分析
 C358 畔上 泰彦 (筑波大院生命環境) 風力発電のための風速変動の地域特性研究
 C359 加藤 央之 (日大・文理) 風力発電の急変動現象に関する風の予測
 C360 嶋田 進 (産総研) マルチ物理過程アンサンブルを用いたメソ気象モデルによる海上風推定の高精度化

休憩

座長：大竹 秀明（産総研）

- C361 野原 大輔 (電中研) 太陽光発電の大量導入下における電力需給運用のための日射量把握・予測手法の開発
 C362 高松 尚宏 (慶大理工) 日射量データを用いたPV発電量の数値シミュレーションの検討
 C363 カトリ ブラディープ (CEReS) Validation of surface downward shortwave fluxes estimated from geostationary satellite HIMAWARI data using surface observation data
 C364 渡邊 武志 (東海大TRIC) 日本における地上日射量の変動を考慮した地域区分
 C365 宇都宮 健志 (気象協会) 全国5地点の日射スペクトルデータベースの整備
 C366 小林 隆久 (電中研) 太陽光発電と日射スペクトル—スペクトル予測に向けて—
 C367 大平 貴裕 (気象工学) WRFによる翌日日射量予測とその予測精度
 C368 佐藤 悠 (気象工学) 衛星画像を用いた広域太陽光発電出力予測システム「アポロン」の開発・試運用
 C369 下瀬 健一 (防災科研) 太陽光発電予測に向けた気象庁メソモデルの晴天時における日射量予測精度検証—日射量予測とエアロゾル光学的厚さの関係—
 C370 大竹 秀明 (産総研) 関西電力エリアを対象とした日射量予測の大外れ事例の解析
 C371 ガリダシルバフォンセカジュニア ジョアン (大生産研) Day-Ahead Regional Power Generation Forecasting: On the Effect of Large Errors in a Scenario of Curtailment of Photovoltaic Power
 C372 宇野 史睦 (AIST) 複数の全球モデルの予報値を用いた日射量予測可能性の検討

*は拡大講演 (各12分), それ以外は一般講演 (各9分)

大会第3日 10月30日(金)

13:30~17:00

一般口頭発表

D 会場

物質循環

座長：真木 貴史（気象研究所）

- D351 菊地 信弘（環境研） GOSAT SWIR偏光情報の利用による温室効果ガス濃度導出精度の改善検討
(3)
- D352 岩崎 千沙（奈良女子大院人間文化） PPDF-S法によるGOSATのCO₂、CH₄気柱平均混合比データの
検証
- D353 高木 宏志（環境研） Ununiformity in satellite-based X_{CO2} datasets and their impact on regional CO₂
inversion
- D354 真木 貴史（気象研） GOSAT TIR L2データを用いたCO₂データ同化実験
- D355 佐伯 田鶴（JAMSTEC/DEGCR） Carbon flux estimation over Asian region for the period 1990–2011
- D356 馬淵 和雄（国環研） 逆解析手法による南アメリカ・アフリカ領域のCO₂フラックス推定値の変動と
地上要素変動との関係
- D357 森 豊（阪大院工） 大阪府における人為起源二酸化炭素排出インベントリの高解像度時空間分解
- D358 梶野 瑞王（気象研） NHM-Chemによる我が国におけるエアロゾルの物理・化学・光学特性および
関連ガスの整合的再現性評価と最適化について

座長：梶野 瑞王（気象研究所）

- D359 舟田 亮子（奈良女子大院人間文化） 船舶太陽放射観測から得られた海上エアロゾルの光学特性
- D360 小木 昭典（気象庁環境気象） 気象庁黄砂予測モデルの高精度化
- D361 弓本 桂也（気象研） ひまわり8号データを用いたエアロゾルデータ同化
- D362 柴田 隆（名大院環境） 北極対流圏エアロゾルのライダー連続観測
- D363 五藤 大輔（環境研） 全球高解像度計算によるエアロゾル分布（1）モデル検証
- D364 内野 修（環境研） 佐賀のライダーで高度2 km以下に観測された高濃度のオゾンとエアロゾル（1）
オゾンライダーの解析と全球化学気候モデルとの比較
- D365 泉 敏治（気象研） 佐賀のライダーで高度2 km以下に観測された高濃度のオゾンとエアロゾル（2）
ミーライダーの解析と全球エアロゾルモデルとの比較
- D366 渡邊 明（福島大・理工） 大気中放射性物質の季節変動の特徴
- D367 池田 恒平（環境研） シベリアの森林火災が日本のPM_{2.5}濃度に及ぼす影響：2001-2012年の長期解析

大会第1日 10月28日(水) 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P101 佐藤 昇 (大阪府教育センター) 防災教育のための気象教材
- P102 関 隆則 (気象予報士会) 温室効果気体の赤外線吸収実験 (その2)
- P103 平野 竜貴 (防衛大地球海洋) 東京都心における二酸化炭素フラックス長期観測
- P104 橋田 宙斗 (札幌管区) 露場周辺環境の違いに起因する気温差の特徴
- P105 志藤 文武 (気象研) 観測露場周辺の気温の通年観測 (第4報) —露場の風通しと気温差—
- P106 中村 祐輔 (立正大院地球) ヒートアイランド強度の不確実性—中規模都市を対象として—
- P107 菅原 広史 (防大地球海洋) 不均質な都市キャノピーにおける空気力学的粗度の測定
- P108 阿部 康一 (環境科学技術研究所) シーロメーターを用いた青森県六ヶ所村における混合層高度の推定
- P109 鈴木 智恵子 (JAMSTEC) 領域気象モデルによる再現実験に対する土地利用データの感度実験
- P110 青柳 曉典 (気象研) NHRCM用角柱都市キャノピーモデルへの融積雪スキームの導入
- P111 高見 和弥 (京大院工) 豪雨の「種」を捉えるための都市気象LESモデルの開発と積雲の生成に関する研究
- P112 石水 尊久 (彦根地方気象台) HTML5とJavaScriptを用いたデータ処理の試み
- P113 五十嵐 弘道 (JAMSTEC/CEIST) 北西太平洋海洋長期再解析 (FORA-WNP30) 2.パフォーマンスの評価とデータ公開について
- P114 八代 尚 (理研計算科学) ポスト「京」スーパーコンピュータにおける数値気象モデルの開発
- P115 下瀬 健一 (防災科研) 3DVAR+IAUを用いた高頻度客観解析による地上風の精度検証
- P116 横田 祥 (気象研) 対流性降水のアンサンブル同化による場の修正—2012年5月6日と2013年9月2日の竜巻事例について—
- P117 若月 泰孝 (筑波大アイソ) 上流下層加湿法による広島豪雨の短時間降水予測
- P118 豊田 将也 (岐阜大院工) フィリピン中部を襲った台風1330号とそれに伴う高潮の再現実験
- P119 田中 健路 (広工大環境) 2014年8月広島豪雨における下層水蒸気の鉛直プロファイルに関する感度計算
- P120 磯田 総子 (NICT) フェーズドアレイ気象レーダによって観測された局地的大雨の統計解析
- P121 中城 智之 (福井工大) 福井平野の地形性降雨の特徴に関する初期解析結果
- P122 三隅 良平 (防災科研) 山岳の風下斜面における積乱雲の発生過程—ステレオ写真測量およびKaバンドレーダ観測による事例解析—
- P123 山田 芳則 (気象研) 超高解像度レーダーで観測された季節風時と陸風時の降雪の違いに関する数値実験
- P124 岩崎 杉紀 (防大地球海洋) 高緯度に存在する積乱雲について
- P125 渡邊 伸 (高知大理) 高知周辺で発生する雲内の渦のレーダー解析
- P126 木村 孝承 (防衛大地球海洋) 2013年9月16日群馬県みどり市で発生した竜巻の地上稠密観測データを用いた解析(2)
- P127 篠田 太郎 (名大地球水循環) 2013年6月15日にパラオ共和国で観測された降水システム内部の氷晶粒子と雪片の3次元分布の推定
- P128 瀬藤 文晴 (名大地球水循環) 偏波レーダーで観測された夏季雷雲内部の固体降水粒子分布の時間変化と落雷極性

大会第1日 10月28日(水) 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P129 古田 尚悟 (山口大農) ビデオゾンデで観測された降水粒子鉛直分布による降水形成過程のステージ分類
- P130 小池 雄大 (神戸大院工) MPレーダーを用いた霰の電荷量と電場の推定
- P131 小池 克征 (いであ) 雲微物理スキームの違いによる降水量予報結果の精度検証
- P132 村山 泰啓 (NICT) アラスカおよびノルウェーにおける潮汐周期で変動する中間圏重力波のMFレーダー観測
- P133 佐々木 拓也 (京大生存研) 化学気候モデルより得られたフリーラン実験のバイアスについて2-TTL (tropical tropopause layer) について-
- P134 小林 ちあき (気象研) JRA-55でみられた成層圏平均子午面循環と基本場のトレンド
- P135 菊池 博史 (阪大院工) 気象用二重偏波フェーズドアレイレーダのビーム形成手法と実用化に関する検討
- P136 道本 光一郎 (ウェザー・サービス) フェーズドアレイ気象レーダー (PAWR) のグランドクラッターの影響低減に向けた取り組み
- P137 山本 真之 (NICT) 情報通信研究機構における1.3GHz帯ウィンドプロファイラの開発
- P138 加藤 万莉絵 (三菱電機) 二重偏波を用いた交互送受信時のナイキスト速度回復法
- P139 堀江 宏昭 (NICT) EarthCARE/CPR検証用電子走査雲観測レーダの開発
- P140 大石 優 (東海大) 日本を通過するパスのMISRデータを用いたGOSAT-2 CAI-2前方視・後方視雲識別の違いに関する検討
- P141 小山 亮 (気象研) 上層大気追跡風を使用した台風の地上最大風速の診断
- P142 末松 透 (岐阜大院工) ボリュームスキャン可能なドップラーソーダの開発に向けて
- P143 永井 智広 (気象研) 局地的豪雨予測のための機動観測用水蒸気ラマンライダーの開発
- P144 石井 昌憲 (NICT) 衛星搭載ドップラー風ライダーシミュレータの開発
- P145 石田 春磨 (気象研) 多変量解析手法を応用した多波長センサー用雲判定アルゴリズムの開発
- P146 小林 隆久 (電中研) GPM・DPRによる降雪観測時の2周波レーダー反射因子の差
- P147 山本 宗尚 (京大院理) GSMaP地形性降雨推定手法の改良と検証
- P148 岡林 裕介 (環境研) 偏光を考慮した放射伝達モデルにおける解析ヤコビアン計算 (第2報) ~ヤコビアン定式化と任意の層境界ストークスペクトルの線形化実装まで~
- P149 岡村 凜太郎 (東北大院理) 飛行機から見える灰色の雲に与える3次元放射効果の影響
- P150 山本 浩嗣 (気象庁観測部) 昭和基地における正味長波長放射量を用いた快晴時の翌朝の気温予想の試み
- P151 堤 之智 (気象庁環境気象) 日本での曇天時の全天日射量 (曇天時の日射透過率) トレンドについて
- P152 原 由香里 (九州大学 応用力学研究所) 多波長ミラーマンライダーから得られたエアロゾル光学特性の検証
- P153 齊藤 雅典 (東北大院理) デジタルカメラを用いた雲検知アルゴリズムの開発と検証
- P154 池田 慎二 (土研 雪崩・地すべり研究センター) 低気圧の通過に伴う降雪結晶弱層の観察
- P155 古賀 江美子 (気象協会) 局地的な気候と女性の肌状態の分布 ~美肌と風の関係について~
- P156 野村 光春 (電中研) 低気圧通過時に見られた蔵王おろしの発生・発達過程-2012年4月4日の事例解析-
- P157 大井川 正憲 (京大生存研) LETKFを用いたGNSS可降水量データの同化実験

大会第1日 10月28日(水) 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P158 田村 栞里 (東北大院理) 熱帯における氷晶雲の物理特性の変動と気象場の影響
- P159 畠山 嵩大 (千葉大CEReS) スカイラジオメーターによる日本のエアロゾルトrend解析とその検証
- P160 原 圭一郎 (福岡大・理) 季節海氷域大気中の海塩粒子：海塩組成と海氷からの放出
- P161 渡辺 幸一 (富山県立大) 北陸地方におけるPM2.5中の水溶性イオン成分及び黄砂粒子の変化特性
- P162 小林 拓 (山梨大) 船舶用オリオールメータの開発
- P163 安成 哲平 (北大院工) Climatological and daily characteristics of the July 2014 Siberian smoke with the MERRAero aerosol reanalysis product
- P164 毛家村 友里子 (奈良女院人間文化) 2005年春における中国から日本へのオゾン越境汚染について～高度別の起源推定・FLEXPARTでの後方流跡線解析～
- P165 矢地 千奈津 (富山県立大) 回転翼航空機を利用した富山県における上空大気中の過酸化水素濃度の測定
- P166 青木 伸行 (産総研計量標準) 大気観測用超高精度酸素標準ガスの開発
- P167 渡邊 武志 (東海大TRIC) オセアニア地域における温室効果ガス観測衛星の雲なし観測の影響評価手法開発のための解析
- P168 野村 渉平 (地球環境研究センター) 東南アジア域の温室効果ガス濃度
- P169 川崎 照夫 (気象庁環境気象) 温室効果ガス観測に関する相互比較実験 (iceGGO)の結果
- P170 和田 章義 (気象研) 台風や大気擾乱の発達に対する新しい表層海洋熱容量
- P171 吉野 純 (岐阜大院工) 高解像度台風モデルによる台風強度に関する擬似温暖化実験
- P172 吉田 康平 (気象研) 60km全球モデルによる多数アンサンブル気候実験の熱帯低気圧
- P173 吉岡 真由美 (名大水循環) Cyclone Pamの強度に対する海洋の影響: 大気海洋結合・非結合実験
- P174 田上 雅浩 (東大院工学系) バングラデシュを対象とした起源域からの水蒸気量と降水量との関係
- P175 一木 拓哉 (北大院環境) 夏季南アジアにおける降水の季節内変動, 日変動に関する研究
- P176 村田 文絵 (高知大理) インド・チェラプンジの雨の長期データ解析
- P177 仲江川 敏之 (気象研) 南半球夏季における南太平洋収束帯のJMAとBOMの季節予測精度
- P178 宮本 歩 (東大先端研) 南インド洋の亜熱帯高気圧と移動性擾乱が下層雲に与える影響 Part2:夏季
- P179 杉本 志織 (首都大) 四川盆地の土壌水分量が夏季の周辺地域気候に及ぼす影響
- P180 渡来 靖 (立正大・地球環境科学) JRA-55で見られる北半球ジェット気流の長期傾向 (その2)
- P181 富田 智彦 (熊本大院自然科学) 北太平洋に固有に卓越する大規模大気循環とその予測可能性
- P182 大谷 和男 (岡山大院自然) 2000年代6月前半にみられた南北九州での降水量の減少と広域場
- P183 永野 隆士 (東京海上研究所) 気候変動による淀川流域における洪水リスク評価の取組みについて
- P184 永野 良紀 (日大・文理) 北海道における風速の急変動現象
- P185 一柳 錦平 (熊本大院自然科学) 本全域における降水の安定同位体比の空間分布と季節変動

大会第1日 10月28日(水) 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P186 福井 真 (東北大院理) 日本域における寒気の流出経路と消滅域
- P187 清水 宏幸 (九大院理) 長白山系が冬季日本海の総観規模低気圧活動に与える影響
- P188 川合 義美 (JAMSTEC/RCGC) 梅雨期の黒潮・黒潮続流域におけるゾンデ観測同化のインパクト (II)
- P189 堀 雅裕 (JAXA/EORC) 衛星データ解析に基づいた北半球積雪被覆期間の長期変動傾向
- P190 新田 友子 (東大大気海洋研) 簡易湿地スキームを用いた大気陸面結合実験
- P191 大楽 浩司 (防災科研) 東アジアにおける確率的気候シナリオ情報の推定手法の開発
- P192 Nayak Sridhara (NIED) Future changes in extreme precipitation intensities linked to temperature over Japan
- P193 森山 文晶 (横浜国大) 領域大気海洋結合気候モデルRSM-ROMSを用いた力学的ダウンスケーリング
- P194 立入 郁 (JAMSTEC) 大気海洋間の炭素・熱に関する非平衡度のTCREへの寄与
- P195 野坂 真也 (気象研) 地域気候モデルによる積雪深の再現結果についてのバイアス補正と将来予測
- P196 横山 千恵 (東大大気海洋研) TRMM PR, JRA55, CMIP5データを用いた梅雨前線降雨の将来変化に関する研究
- P197 長谷川 聡 (土木研究所) 気候変動評価のためのSPIの改良
- P198 神代 剛 (気象研) ISCCP観測データ・シミュレータ出力をもちいたCMIP5モデルamip実験の亜熱帯海洋下層雲の再現性評価
- P199 吉田 龍平 (福島大理工) 日本の水環境と水稻病害リスクの将来変化
- P1a0 安富 奈津子 (地球研) 地上気温気候平均場における高地観測データ入力の影響評価

大会第3日 10月30日(金) 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P301 今井 弘二 (宇宙研) 気象学のデータを簡単に確認できるウェブサービス ~Cross-Cutting Comparisons~
- P302 福原 隆彰 (鉄道総研) 最大瞬間風速起時風向を用いた強風時卓越風向の推定
- P303 藤枝 鋼 (気象研) 日本国内における地表面付近の下向き長波長放射量推定法の改良
- P304 三浦 悠 (岡山理大生物地球) 岡山地方気象台の観測露場移設に伴う気温データの切断と都市気候の判定について
- P305 荒木 沙耶 (防衛大地球海洋) 都市域の人工排熱に関する研究
- P306 奥 勇一郎 (兵庫県立大) ひまわり8号でみる京阪神地域のヒートアイランド現象
- P307 堀口 光章 (京大防災研) 都市近郊の大気境界層における中立に近い時と不安定時の乱流構造の観測
- P308 吉田 敏哉 (京大院理) 京都市街地における大気境界層乱流の組織構造についての LES 解析
- P309 小川 晃生 (岡山理大総合情報) 岡山県高梁盆地の夏季における高温化現象の観測
- P310 山川 洋平 (明星大院理工) 日射空間偏差と電力需要の再現性に着目した都市気象・建物エネルギー連成数値モデルの検証
- P311 橋本 篤 (電中研) 気象庁の静止衛星画像データを用いた日射量推定・予測モデルの開発
- P312 野原 大輔 (電中研) 領域アンサンブル予測を用いた再生可能エネルギー発電出力予測の信頼性情報
- P313 大泉 伝 (シームレス環境予測研究分野) 異なる地形を用いた超高解像度数値実験
- P314 大塚 道子 (気象研) 気象衛星ひまわり高頻度大気追跡風のデータ同化実験
- P315 八代 尚 (理研計算科学) 高解像度・多アンサンブル同化シミュレーションを可能にする NICAM-LETKFフレームワークの開発
- P316 吉開 朋弘 (気象協会) シナリオ提示型の台風予測情報の検討
- P317 小田 真祐子 (気象研) 台風進路予報向上のための全球モデル用のアンサンブルに基づく変分法同化法の開発 (その3)
- P318 加藤 亮平 (防災科研) 局地的短時間強雨に対する気象庁高解像度降水ナウキャストの予測精度検証
- P319 的場 徹 (九大院理) 東シナ海周辺で発生するクラウドクラスターに関する統計的研究
- P320 吉村 洸太郎 (高知大院理) 高知県に短時間強雨をもたらす低気圧の経路
- P321 疋田 丈晴 (名大地球水循環) 孤立積乱雲の発達に対するラピッドスキャンデータを用いた検出可能性の検討
- P322 佐野 哲也 (梨大ICRE) 孤立峰の斜面上に大雨をもたらした対流性降水システムの構造
- P323 林 修吾 (気象研) 2014年6月24日に調布・三鷹に激しい降雹・落雷をもたらした積乱雲の発生発達とその構造
- P324 出納 誠 (高知大院総合人間自然科学) 高知における台風12号に伴う線状降水帯の観測と解析
- P325 湯浅 惣一郎 (高知大院理) 台風201408号に伴う竜巻の高知大MPレーダーによる解析
- P326 小司 禎教 (気象研) MADOCAリアルタイムプロダクトを用いた数kmスケールのGNSS可降水量解析
- P327 宗近 夏美 (山口大農) 山形蔵王で観測された融解層内の微物理構造
- P328 高橋 直也 (東北大院理) 東西熱帯太平洋における雲微物理特性の違い

大会第3日 10月30日(金) 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P329 折笠 成宏 (気象研) AgI粒子の氷晶核能を中心とした性能試験
- P330 小西 啓之 (大阪教育大) 光学式雨量計を用いた弱い降雪に対する降雪量推定
- P331 吉田 智 (気象研) 積乱雲内の鉛直流に伴う電荷構造変化
- P332 半田 太郎 (九大院理) 衛星データから見たオゾン量の経年変動と力学場の関係(II)
- P333 山上 晃央 (筑波大院生命環境) 3次元ノーマルモード展開を用いたJRA-55, ERA-InterimおよびJRA-55のエネルギースペクトルの比較
- P334 重 尚一 (京大院理) Orographic propagating rain systems over the middle of Indochina Peninsula during summer monsoon of 2010 observed by a composite map of gauge-calibrated ground-based radar data
- P335 早野 真理子 (古野電気) 小型Xバンド二重偏波レーダーを用いた雹の観測
- P336 柏柳 太郎 (日本無線) 短時間三次元観測を可能にする高速スキャン気象レーダー
- P337 古賀 禎 (電子航法研) 航空機の動態情報を用いた上空の風向風速の取得について
- P338 村田 文絵 (高知大理) 高知大レーダーとParsivelディストロメータの比較
- P339 岩下 久人 (明星電気) 地上稠密観測POTEKAによる2015年6月15日前橋市・伊勢崎市突風観測結果
- P340 林 政彦 (福大理) 成層圏エアロゾル観測のための気球浮揚滑空無人航空機システムの開発
- P341 秋山 義郎 (北大院情報) 全天カメラを用いたエアロゾル量推定手法の開発
- P342 小沼 聡 (千葉大CEReS) MAX-DOAS法による水蒸気観測の評価：ラジオゾンデによる実観測との比較
- P343 青木 誠 (NICT) ドップラーライダーによる雨滴粒径分布鉛直プロファイルの推定
- P344 菊池 麻紀 (JAXA/EORC) JAXAひまわり8号エアロゾルプロダクトの試作
- P345 山本 雄平 (京大院理) ひまわり8号データを用いた地表面温度の算出
- P346 弓場 良樹 (近大理工) GSMaP とGPCPの推定降水量比較
- P347 藤本 梨沙 (奈良女子大院人間文化) 船舶搭載型測器観測データ解析による雲の特徴
- P348 西澤 慶一 (電中研) 観測された全天日射量に基づく雲の光学的厚さと散乱比率の推定法
- P349 三井 文乃 (東北大院理) 雲の鉛直分布による雲の放射効果の違い
- P350 所 悠香 (東北大院理) ひまわり8号のデータを用いた氷晶雲の解析(2)
- P351 山内 晃 (長大院水産環境) CloudSat衛星から導出された放射加熱率に着目した黒潮上の雲特性解析
- P352 山田 恭平 (東北大院理) ニーオルスン基地における雲の変動と放射収支に対する寄与の変化
- P353 伊藤 大樹 (広工大環境) 九州西岸における潮位副振動に関する大規模場の特徴—中国南岸から内陸部にかけての水蒸気場の挙動—
- P354 松下 拓樹 (土木研) 2014年2月の大雪時の雪崩発生条件に関する一考察(3)
- P355 大庭 雅道 (電中研) 風力ランプ現象発生時における気象場の解析と確率的予測手法の開発
- P356 大庭 雅道 (電中研) 梅雨期豪雨時の広域気象背景場の分類とその確率的降水量予報への応用
- P357 瀬古 弘 (気象研) 航空機からのSSR モードS ダウンリンクデータの同化実験(その1)
- P358 瀬古 弘 (気象研) 急発達する積乱雲に関するビン法雲微物理モデルを用いた数値実験
- P359 高木 聖子 (東海大TRIC) EarthCARE/MSI 観測データを用いた水雲・氷雲特性解析アルゴリズム開発の現状と展望

大会第3日 10月30日(金) 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P360 早崎 将光 (環境研) 冬季・春季日本における粒子状物質広域高濃度時の気象条件
- P361 荒井 辰央 (富山大院理工) 二次粒子生成発生日におけるエアロゾルの光学的特性
- P362 田中 泰宙 (気象庁環境気象) 気象庁黄砂予測のための次期全球エアロゾル予測モデルの開発
- P363 古賀 聖治 (産総研) 西太平洋上で観測した粗大エアロゾル粒子中の揮発成分
- P364 林 政彦 (福大理) 熱帯対流圏界面遷移層のエアロゾル揮発特性と組成—インドネシアBiak島におけるin-site気球観測—
- P365 茅場 聡子 (奈良女子大院人間文化) 東アジアにおける大気微量成分の衛星観測結果とモデルシミュレーションの比較
- P366 杉田 考史 (環境研) 西シベリア上空のメタン高度分布と時系列の比較
- P367 中前 久美 (NIES) バイオマス燃焼に関連する温室効果気体等の季節変動と経年変動について
- P368 佐々井 崇博 (筑波大院生命環境) 全球1kmメッシュの陸域炭素収支推定: GOSAT L4Aプロダクトとの比較
- P369 石島 健太郎 (JAMSTEC-DEGCR) 放出源別モデル計算を用いたメタンフラックスの最適化について
- P370 沢田 雅洋 (気象研) 台風の発達率と構造の関係に対する水平解像度依存性
- P371 山崎 聖太 (横浜国大) アンサンブルシミュレーションを用いた台風通過時の強風特性に対する地形効果と防災情報の検証
- P372 薬師寺 峻 (九大院理) 台風活動に起因するPJパターンの多重時間スケール構造
- P373 加藤 雅也 (名大地球水循環) 放射過程が台風強化に与える影響
- P374 高倉 寿成 (九大院理) 同位体領域気候モデルを用いた台風中心近傍の水蒸気起源解析
- P375 井上 知榮 (JAMSTEC/DCOP) タイ・チャオプラヤ川2011年洪水時におけるモンスーン降水量の特徴
- P376 遠藤 伸彦 (JAMSTEC/RCGC) マレーシア国サラワク州におけるグリッド降水量の検証(第2報)
- P377 濱田 篤 (東大大気海洋研) GPM/DPRの降水検出感度向上のインパクト
- P378 寺尾 徹 (香川大教育) エルニーニョ前後における海面水温昇温メカニズムの解析
- P379 横山 土実 (首都大院都市環境) チベット高原上で発生したメソ対流系東進時の総観場解析
- P380 松崎 祐太 (首都大院都市環境) 北半球冬季季節風が熱帯対流に及ぼす影響
- P381 島田 照久 (弘前大院理工) 夏季の亜寒帯海域に形成される下層冷氣
- P382 日野 慎二 (熊本大院自然科学) 5月の梅雨前線に現れる強度極大とその年々変動
- P383 佐藤 令於奈 (福岡大院理) 冬季における気温の平年値にみられる季節内変化
- P384 岩場 遊 (東北大院理) 2013年5月13日の仙台山形の気温差について
- P385 足立 幸徳 (理研計算科学) 西日本夏季を対象としたSCALEの現在気候再現性評価
- P386 佐々木 秀孝 (気象研) NHRCM20による年最大積雪深のバイアス補正について
- P387 築地原 匠 (熊本大院自然科学) 北西太平洋の爆弾低気圧の発生頻度における3月の特異性
- P388 田村 健太 (北大院環境) 領域気象モデルを用いた海面水温操作実験における冬季北海道西岸沖に発生するポーラーローの応答
- P389 永井 将貴 (千葉大院理) 黒潮前線帯近傍で急速に発達する温帯低気圧と日本海上空の低気圧性擾乱との関係

大会第3日 10月30日(金) 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P390 保坂 征宏 (気象研) 極域の積雪アルベド変更実験とその応答の検出
- P391 山下 陽介 (環境研) QBOと太陽11年周期の位相と北極域オゾン量との関係
- P392 若松 俊哉 (気象庁気候情報) CMIP5 データにおける日本の極端降水の現在気候再現性評価に向けて
- P393 田中 朱美 (環境研) 全球平均気温変化に対する気候変化影響量のスケーリング可能性の検討
- P394 西森 基貴 (農環研) 経験的統計ダウンスケーリング手法(ESD)結果の不確実性について—南米および日本への適用と学習・検証期間の影響—
- P395 阿部 学 (JAMSTEC/IClip) MIROC-ESMの将来予測実験におけるユーラシア北部の春季気温上昇と積雪変化の関係
- P396 SILVA HERRAN Diego (気象変動リスク情報創生プロジェクトチーム) Energy consumption under RCP4.5 mitigation scenario using economic models
- P397 岡部 裕己 (筑波大院生命環境) 宇宙線-雲凝結核プロセスが温暖化に与える影響の解析
- P398 CHEN Ying-Wen (JAMSTEC) NICAMを用いた雲放射フィードバックの解析—温暖化応答の雲微物理依存性—
- P399 飯泉 仁之直 (農環研) 世界の主要穀物の収量変動変化に対する気候変化影響の同定と評価
- P3a0 石原 幸司 (気象庁気候情報) 混合分布とブートストラップ法を用いた「地域気候変動予測データ」の不確実性評価
- P3a1 シェリフ多田野 サム (東大大気海洋研) 氷期の海氷変動が大気循環に与える影響と氷期氷床による増幅効果

講演者索引

< A >

Abe Ayako (阿部 彩子) B170
 Abe Koichi (阿部 康一) P108
 Abe Manabu (阿部 学) P395
 Abo Makoto (阿保 真) A169
 Adachi Sachio (足立 幸徳) P385
 Adachi Toru (足立 透) D305
 Aiki Hidenori (相木 秀則) C205
 Akiyama Yoshiro (秋山 義郎) P341
 Amemiya Arata (雨宮 新) C203
 Ando Yuta (安藤 雄太) C167
 Aoki Makoto (青木 誠) P343
 Aoki Nobuyuki (青木 伸行) P166
 Aoki Teruo (青木 輝夫) B167
 Aonashi Kazumasa (青梨 和正) A355
 Aoyagi Toshinori (青柳 曉典) P110
 Arai Tatsuo (荒井 辰央) P361
 Arakawa Tomoko (荒川 知子) B367
 Araki Kentaro (荒木 健太郎) A208
 Araki Kentaro (荒木 健太郎) A214
 Araki Saya (荒木 沙耶) P305
 Arakida Hazuki (荒木田 葉月) D164
 Azegami Yasuhiko (畔上 泰彦) C358

< B >

Baron Philippe (Baron Philippe) C162

< C >

Chen Ying-wen (チェン インウエン) P398

< D >

Dairaku Koji (大楽 浩司) P191

< E >

Endo Hirokazu (遠藤 洋和) B109
 Endo Nobuhiko (遠藤 伸彦) P376
 Enomoto Takeshi (榎本 剛) D170

< F >

Fudeyasu Hironori (筆保 弘徳) A310
 Fujibe Fumiaki (藤部 文昭) B160
 Fujibe Fumiaki (藤部 文昭) B161
 Fujieda Tsuyoshi (藤枝 鋼) P303
 Fujimoto Risa (藤本 梨沙) P347
 Fujita Yuka (藤田 友香) B357
 Fujitani Tokunosuke (藤谷 徳之助) A157
 Fujiwara Chusei (藤原 忠誠) D303
 Fujiwara Masatomo (藤原 正智) C104
 Fukuhara Takaaki (福原 隆彰) P302
 Fukui Shin (福井 真) P186
 Funada Ryoko (舟田 亮子) D359
 Furuta Shogo (古田 尚梧) P129

< G >

Gari Da Silva Fonseca Junior Joao (カリダシルバフォンセカジュニア ジョアン) C371
 Goto Daisuke (五藤 大輔) D363

< H >

Haginoya Shigenori (萩野谷 成徳) D206
 Hamada Atsushi (濱田 篤) P377
 Hamaki Tatsuya (濱木 達也) B166
 Handa Taro (半田 太郎) P332
 Hara Keiichiro (原 圭一郎) P160
 Hara Yukari (原 由香里) P152
 Harada Yayoi (原田 やよい) B309
 Hasegawa Akira (長谷川 聡) P197
 Hashida Michito (橋田 宙斗) P104
 Hashimoto Akihiro (橋本 明弘) B169
 Hashimoto Akihiro (橋本 明弘) B205
 Hashimoto Atsushi (橋本 篤) P311
 Hashino Tempei (端野 典平) D114
 Hatakeyama Hikaru (畠山 光) A211
 Hatakeyama Takehiro (畠山 嵩大) P159
 Hatsuzuka Daisuke (初塚 大輔) A362
 Hayano Mariko (早野 真理子) P335
 Hayasaki Masamitsu (早崎 将光) P360
 Hayashi Kohei (林 浩平) D116
 Hayashi Masahiko (林 政彦) P340
 Hayashi Masahiko (林 政彦) P364
 Hayashi Syugo (林 修吾) P323
 Hayashida Sachiko (林田 佐智子) A172
 Hibino Kenshi (日比野 研志) B107
 Higashi Kuniaki (東 邦昭) B351
 Hikida Takeharu (疋田 丈晴) P321
 Hino Shinji (日野 慎二) P382
 Hirano Tatsuki (平野 竜貴) P103
 Hirasawa Naohiko (平沢 尚彦) D105
 Hirockawa Yasutaka (廣川 康隆) A201
 Hirose Hitoshi (広瀬 民志) C113
 Honda Meiji (本田 明治) C168
 Honda Takumi (本田 匠) D166
 Hori Masahiro (堀 雅裕) P189
 Horie Hiroaki (堀江 宏昭) P139
 Horie Yuka (堀江 祐圭) B358
 Horiguchi Mitsuaki (堀口 光章) P307
 Horinouchi Takeshi (堀之内 武) C314
 Hosaka Masahiro (保坂 征宏) P390

< I >

Ichigi Takuya (一木 拓哉) P175
 Ichiyonagi Kimpei (一柳 錦平) P185
 Iga Keita (伊賀 啓太) C202
 Igarashi Hiromichi (五十嵐 弘道) P113
 Iida Yu (飯田 友) D115
 Iizumi Toshichika (飯泉 仁之直) P399
 Ikeda Kohei (池田 恒平) D367
 Ikeda Shinji (池田 慎二) P154
 Imada Yukiko (今田 由紀子) B104
 Imada Yukiko (今田 由紀子) B151
 Imai Koji (今井 弘二) C163
 Imai Koji (今井 弘二) P301
 Imamura Takeshi (今村 剛) C303
 Imamura Takeshi (今村 剛) C308

Inai Yoichi (稲飯 洋一) A369
 Inoue Tomoshige (井上 知栄) P375
 Ishibashi Toshiyuki (石橋 俊之) D162
 Ishida Haruma (石田 春磨) P145
 Ishidoya Shigeyuki (石戸谷 重之) A155
 Ishihara Koji (石原 幸司) P3a0
 Ishii Masao (石井 雅男) A163
 Ishii Shoken (石井 昌憲) P144
 Ishijima Kentaro (石島 健太郎) P369
 Ishikawa Yoichi (石川 洋一) D163
 Ishimizu Takahisa (石水 尊久) P112
 Ishimoto Hiroshi (石元 裕史) C209
 Ishioka Keiichi (石岡 圭一) A103
 Ishitsu Naoki (石津 尚喜) D304
 Ishizaka Masaaki (石坂 雅昭) A210
 Ishizaki Noriko (石崎 紀子) B102
 Isoda Fusako (磯田 総子) P120
 Itahashi Syuichi (板橋 秀一) D204
 Itano Toshihisa (板野 稔久) C201
 Ito Daiki (伊藤 大樹) P353
 Ito Junshi (伊藤 純至) D210
 Ito Kosuke (伊藤 耕介) A353
 Ito Kosuke (伊藤 耕介) A354
 Ito Rui (伊東 瑠衣) A107
 Ito Rui (伊東 瑠衣) D211
 Iwaba Yu (岩場 遊) P384
 Iwai Hironori (岩井 宏徳) D207
 Iwasaki Chisa (岩崎 千沙) D352
 Iwasaki Hiroyuki (岩崎 博之) D310
 Iwasaki Suginori (岩崎 杉紀) P124
 Iwasaki Toshiki (岩崎 俊樹) A101
 Iwashita Hisato (岩下 久人) P339
 Izumi Toshiharu (泉 敏治) D365

< K >

Kachi Misako (可知 美佐子) C115
 Kadokura Shinji (門倉 真二) C356
 Kajino Mizuo (梶野 瑞王) D358
 Kajiura Masanori (梶浦 正憲) B360
 Kamahori Hirota (釜堀 弘隆) B158
 Kamijo Kenichi (上條 賢一) C101
 Kanada Sachie (金田 幸恵) A307
 Kanemaru Kaya (金丸 佳矢) A366
 Kanno Yuki (菅野 湧貴) B308
 Kashimura Hiroki (榎村 博基) B207
 Kashimura Hiroki (榎村 博基) C315
 Kashiwayanagi Taro (柏柳 太郎) P336
 Kato Hisashi (加藤 央之) C359
 Kato Kuranoshin (加藤 内藏進) B164
 Kato Marie (加藤 万莉絵) P138
 Kato Masaya (加藤 雅也) A306
 Kato Masaya (加藤 雅也) P373
 Kato Ryohei (加藤 亮平) P318
 Kato Teruyuki (加藤 輝之) A203
 Kato Teruyuki (加藤 輝之) A204
 Katsuno Keita (勝野 継太) A206
 Kawabata Takuya (川畑 拓矢) D159

- Kawabata Yasuhiro (川端 康弘) D205
 Kawai Hideaki (川合 秀明) B204
 Kawai Yoshimi (川合 義美) P188
 Kawamura Kenji (川村 賢二) A162
 Kawasaki Teruo (川崎 照夫) P169
 Kawase Hiroaki (川瀬 宏明) B106
 Kawatani Yoshio (河谷 芳雄) C155
 Kayaba Satoko (茅場 聡子) P365
 Keyamura Yuriko (毛家村 友里子) P164
 Khatri Pradeep (カリ プラデーブ) C363
 Kikuchi Hiroshi (菊池 博史) P135
 Kikuchi Maki (菊池 麻紀) P344
 Kikuchi Nobuhiro (菊池 信弘) D351
 Kimura Hyosun (木村 孝承) P126
 Kinoshita Takenari (木下 武也) C206
 Kitabatake Naoko (北畠 尚子) A357
 Kobayashi Chiaki (小林 ちあき) P134
 Kobayashi Fumiaki (小林 文明) D307
 Kobayashi Hiroshi (小林 拓) P162
 Kobayashi Takahisa (小林 隆久) C366
 Kobayashi Takahisa (小林 隆久) P146
 Koga Emiko (古賀 江美子) P155
 Koga Seizi (古賀 聖治) P363
 Koga Tadashi (古賀 禎) P337
 Koide Hiroshi (小出 寛) A159
 Koike Kana (小池 佳奈) B355
 Koike Katsuyuki (小池 克征) P131
 Koike Tetsuji (小池 哲司) C110
 Koike Yudai (小池 雄大) P130
 Kojima Yumi (小嶋 ゆう実) B165
 Komatsu Asami (小松 麻美) D203
 Kondo Keiichi (近藤 圭一) D151
 Konishi Hiroyuki (小西 啓之) P330
 Koshiba Atsushi (小柴 厚) A370
 Koshiro Tsuyoshi (神代 剛) P198
 Kotsuki Shunji (小槻 峻司) D156
 Kouketsu Takeharu (瀨藤 丈晴) P128
 Kouyama Toru (神山 徹) C313
 Kubota Hisayuki (久保田 尚之) A115
 Kudo Rei (工藤 玲) C211
 Kudo Rei (工藤 玲) C212
 Kuji Makoto (久慈 誠) C210
 Kumazawa Rie (熊澤 里枝) A361
 Kunii Masaru (国井 勝) D153
 Kurihara Kazuo (栗原 和夫) B110
 Kuroda Yuhji (黒田 友二) B310
 Kusanagi Hiroshi (草薙 浩) B208
 Kusuda Masanori (楠田 雅紀) B365
 Kusunoki Kenichi (楠 研一) D301
 Kusunoki Kenichi (楠 研一) D302
 Kusunoki Shoji (楠 昌司) B201
 Kuvano-yoshida Akira (吉田 聡) B303
- < L >
 Le Duc (レ デュック) D160
 Lien Guo-yuan (リエン グオ ユエン) D154
- < M >
 Mabuchi Kazuo (馬淵 和雄) D356
 Maeda Shuhei (前田 修平) B152
- Maejima Yasumitsu (前島 康光) D152
 Maki Takashi (真木 貴史) D354
 Mashiko Wataru (益子 渉) D308
 Matoba Toru (的場 徹) P319
 Matsuda Yoshihisa (松田 佳久) C302
 Matsueda Mio (松枝 未遠) B302
 Matsui Aki (松井 亜貴) D209
 Matsumoto Jun (松本 淳) A109
 Matsumoto Kengo (松本 健吾) B163
 Matsumoto Kodai (松本 幸大) A215
 Matsumura Shinji (松村 伸治) B304
 Matsushima Toshiki (松嶋 俊樹) C204
 Matsushita Hiroki (松下 拓樹) P354
 Matsuzaki Yuta (松崎 祐太) P380
 Michimoto Koichiro (道本 光一郎) B356
 Michimoto Koichiro (道本 光一郎) P136
 Mimura Satoru (三村 慧) C156
 Minamihara Yuichi (南原 優一) C164
 Minda Haruya (民田 晴也) C105
 Misumi Ryohei (三隅 良平) P122
 Mitsui Ayano (三井 文乃) P349
 Miura Haruka (三浦 悠) P304
 Miyagawa Mayu (宮川 真友) C166
 Miyamoto Ayumu (宮本 歩) P178
 Miyamoto Yoshiaki (宮本 佳明) A309
 Miyana Kentaro (宮永 健太郎) B353
 Miyasaka Takafumi (宮坂 貴文) B306
 Miyata Akira (宮田 明) A165
 Mizuta Ryo (水田 亮) B103
 Mochizuki Takashi (望月 崇) B156
 Mori Kazumasa (森 一正) A302
 Mori Yutaka (森 豊) D357
 Morino Isamu (森野 勇) A168
 Moriyama Fumiaki (森山 文晶) P193
 Moteki Qoosaku (茂木 耕作) A363
 Motoyoshi Hiroki (本吉 弘岐) D107
 Munechika Natsumi (宗近 夏美) P327
 Murakami Masataka (村上 正隆) D102
 Murata Akihiko (村田 昭彦) B105
 Murata Fumie (村田 文絵) P176
 Murata Fumie (村田 文絵) P338
 Murayama Yasuhiro (村山 泰啓) P132
- < N >
 Nagai Hideyuki (永井 秀行) B368
 Nagai Masaki (永井 将貴) P389
 Nagai Tomohiro (永井 智広) P143
 Nagano Takashi (永野 隆士) P183
 Nagano Yoshinori (永野 良紀) P184
 Nagasaki Taketo (長崎 岳人) C107
 Nagasawa Chikao (長澤 親生) C103
 Nagoshi Toshiyuki (名越 利幸) B162
 Nakaegawa Tosiyouki (仲江川 敏之) P177
 Nakai Sento (中井 専人) A213
 Nakajima Takashi (中島 孝) C351
 Nakajo Tomoyuki (中城 智之) P121
 Nakamae Kumi (中前 久美) P367
 Nakamura Masato (中村 正人) C301
 Nakamura Takashi (中村 貴) D201
 Nakamura Yusuke (中村 祐輔) P106
- Nakanowatari Takuya (中野渡 拓也) B305
 Nakaoka Shinitirou (中岡 慎一郎) A164
 Nakayama Hideaki (中山 秀晃) B362
 Nakazawa Takakiyo (中澤 高清) A151
 Nakazawa Tetsuo (中澤 哲夫) B301
 Naoe Hiroaki (直江 寛明) C152
 Nasuno Tomoe (那須野 智江) A105
 Nayak Sridhara (Nayak Sridhara) P192
 Ninomiya Kozo (二宮 洗三) A209
 Nishi Akifumi (西 晁史) D208
 Nishi Noriyuki (西 憲敬) A367
 Nishii Kazuaki (西井 和晃) B307
 Nishimori Motoki (西森 基貴) P394
 Nishizawa Keiichi (西澤 慶一) P348
 Nitta Tomoko (新田 友子) P190
 Niwa Yosuke (丹羽 洋介) A171
 Niwano Masashi (庭野 匡思) B168
 Nohara Daisuke (野原 大輔) C361
 Nohara Daisuke (野原 大輔) P312
 Nomura Mitsuharu (野村 光春) P156
 Nomura Shohei (野村 渉平) P168
 Nonomura Tatsuya (野々村 達也) D106
 Nosaka Masaya (野坂 真也) P195
- < O >
 Obama Risa (小濱 里沙) C151
 Oda Mayuko (小田 真祐子) P317
 Oda Tomohiro (小田 知宏) A170
 Ogasawara Norimitsu (小笠原 範光) C357
 Ogata Tomomichi (尾形 友道) A360
 Ogawa Kouki (小川 晃生) P309
 Ogi Akinori (小木 昭典) D360
 Oghara Kazunori (小郷原 一智) A108
 Ohba Masamichi (大庭 雅道) P355
 Ohba Masamichi (大庭 雅道) P356
 Ohgaito Rumi (大垣内 るみ) B206
 Ohigishi Tadayasu (大東 忠保) D109
 Ohno Tomoki (大野 知紀) A308
 Ohno Yuichi (大野 裕一) C114
 Ohtake Hideaki (大竹 秀明) C370
 Oigawa Masanori (大井川 正憲) P157
 Oishi Yu (大石 優) P140
 Oizumi Tsutao (大泉 伝) P313
 Okabayashi Yusuke (岡林 裕介) P148
 Okabe Yuki (岡部 裕己) P397
 Okadome Kenji (岡留 健二) B352
 Okamura Rintaro (岡村 凛太郎) P149
 Oku Yuichiro (奥 勇一郎) P306
 Okumura Masayoshi (奥村 政佳) B369
 Ong Chia Rui (王家瑞) D110
 Onishi Ryo (大西 領) D111
 Onuma Satoshi (小沼 聡) P342
 Oohira Takahiro (大平 貴裕) C367
 Origuchi Seiji (折口 征二) D161
 Orikasa Narihiro (折笠 成宏) P329
 Ose Tomoaki (尾瀬 智昭) B108
 Otani Kazuo (大谷 和男) P182
 Otsuka Michiko (大塚 道子) P314
 Otsuka Shigenori (大塚 成徳) D157
 Ouchi Mai (大内 麻衣) C102

Oyama Ryo (小山 亮)	A356	Suematsu Toru (末松 透)	P142	Tsuji Hiroki (辻 宏樹)	A311
Oyama Ryo (小山 亮)	P141	Sugawara Hirofumi (菅原 広史)	P107	Tsukijihara Takumi (築地原 匠)	P387
< P >		Sugawara Satoshi (菅原 敏)	A153	Tsutsumi Yukitomo (堤 之智)	P151
Pham Van Phuc (ファム バン フック)	D309	Sugi Masato (杉 正人)	A359	< U >	
< S >		Sugimoto Norihiko (杉本 憲彦)	C312	Uchino Osamu (内野 修)	D364
Saeki Tazu (佐伯 田鶴)	D355	Sugimoto Shiori (杉本 志織)	P179	Uchiyama Tsuneo (内山 常雄)	B159
Sagawa Hideo (佐川 英夫)	C309	Sugita Takafumi (杉田 考史)	P366	Udagawa Yusuke (宇田川 佑介)	C353
Saito Akinori (齊藤 昭則)	B209	Sugiyama Ko-ichiro (杉山 耕一朗)	C316	Uekiyo Naotaka (上清 直隆)	D158
Saito Masanori (齊藤 雅典)	P153	Suido Makoto (出納 誠)	P324	Uematsu Hisayoshi (植松 久芳)	B366
Saitoh Naoko (齋藤 尚子)	A167	Suzuki Chieko (鈴木 智恵子)	P109	Uno Fumichika (宇野 史睦)	C372
Sakai Tetsu (酒井 哲)	C108	Suzuki Junko (鈴木 順子)	A368	Urabe Yusuke (卜部 佑介)	B153
Sakazaki Takatoshi (坂崎 貴俊)	C153	Suzuki Kentaroh (鈴木 健太郎)	D113	Ushio Tomoo (牛尾 知雄)	D311
Sakazaki Takatoshi (坂崎 貴俊)	C154	Suzuki Makoto (鈴木 睦)	C161	Ushiyama Tomoki (牛山 朋來)	B112
Sano Tetsuya (佐野 哲也)	P322	Suzuki Yuto (鈴木 祐人)	D108	Utsunomiya Kenji (宇都宮 健志)	C365
Sasai Takahiro (佐々井 崇博)	P368	< T >		< W >	
Sasaki Hidetaka (佐々木 秀孝)	P386	Tachiiri Kaoru (立入 郁)	P194	Wada Akiyoshi (和田 章義)	A304
Sasaki Takuya (佐々木 拓也)	P133	Taguchi Makoto (田口 真)	C306	Wada Akiyoshi (和田 章義)	P170
Sato Noboru (佐藤 昇)	P101	Tajiri Takuya (田尻 拓也)	D101	Wakamatsu Shunya (若松 俊哉)	P392
Sato Reona (佐藤 令於奈)	P383	Takagi Hiroshi (高木 宏志)	D353	Wakazuki Yasutaka (若月 泰孝)	B111
Sato Yousuke (佐藤 陽祐)	D112	Takagi Masahiro (高木 征弘)	C310	Wakazuki Yasutaka (若月 泰孝)	P117
Satoh Shinsuke (佐藤 晋介)	C109	Takagi Seiko (高木 聖子)	P359	Watanabe Akira (渡邊 明)	D366
Satoh Takehiko (佐藤 毅彦)	C305	Takahashi Hiroshi (高橋 洋)	A112	Watanabe Koichi (渡辺 幸一)	P161
Satou Yuu (佐藤 悠)	C368	Takahashi Masaya (高橋 昌也)	C112	Watanabe Shin (渡邊 伸)	P125
Sawa Yousuke (澤 庸介)	A152	Takahashi Naoya (高橋 直也)	P328	Watanabe Takeshi (渡邊 武志)	C364
Sawada Masahiro (沢田 雅洋)	A352	Takahashi Tsunya (高橋 庸哉)	B210	Watanabe Takeshi (渡邊 武志)	P167
Sawada Masahiro (沢田 雅洋)	P370	Takahashi Yukihiko (高橋 幸弘)	C307	Watarai Yasushi (渡來 靖)	P180
Seiki Ayako (清水 亜矢子)	A364	Takakura Toshinari (高倉 寿成)	P374	< Y >	
Seiki Tatsuya (清水 達也)	B202	Takamatsu Takahiro (高松 尚宏)	C362	Yachi Chinatsu (矢地 千奈津)	P165
Seino Naoko (清野 直子)	A207	Takami Kazuya (高見 和弥)	P111	Yakushiji Ryo (薬師寺 峻)	P372
Seki Takanori (関 隆則)	P102	Takane Yuya (高根 雄也)	C352	Yamada Kyohei (山田 恭平)	P352
Sekiguchi Miho (関口 美保)	C207	Takasaki Yoshinori (高咲 良規)	A205	Yamada Yoshinori (山田 芳則)	P123
Sekizawa Shion (関澤 惲温)	B157	Takemi Tetsuya (竹見 哲也)	A106	Yamagami Akio (山上 晃央)	P333
Seko Hiromu (瀬古 弘)	P357	Takemi Tetsuya (竹見 哲也)	A303	Yamagishi Takateru (山岸 孝輝)	D169
Seko Hiromu (瀬古 弘)	P358	Takemura Kazushi (武村 一史)	A104	Yamaguchi Munehiko (山口 宗彦)	A351
Sherriff-tadano Sam (シェルフ多田野 サム)	P3a1	Takeuchi Yoshiaki (竹内 義明)	D168	Yamakawa Yohei (山川 洋平)	P310
Shibata Takashi (柴田 隆)	D362	Tamra Kenta (田村 健太)	P388	Yamamori Miho (山森 美穂)	C165
Shibuya Ryosuke (澁谷 亮輔)	C159	Tamura Shiori (田村 栞里)	P158	Yamamoto Hirotsugu (山本 浩嗣)	P150
Shibuya Ryosuke (澁谷 亮輔)	C160	Tanaka Akemi (田中 朱美)	P393	Yamamoto Masaru (山本 勝)	C311
Shido Fumitake (志藤 文武)	P105	Tanaka Kenji (田中 健路)	P119	Yamamoto Masayuki (山本 真之)	P137
Shige Shoichi (重 尚一)	A113	Tanaka Taichu (田中 泰宙)	P362	Yamamoto Munehisa (山本 宗尚)	P147
Shige Shoichi (重 尚一)	P334	Tanigaki Yusuke (谷垣 悠介)	C208	Yamamoto Yuhei (山本 雄平)	P345
Shigeta Yoshinori (重田 祥範)	D202	Tanimoto Youichi (谷本 陽一)	B155	Yamamoto Yuka (山本 由佳)	B370
Shimada Susumu (嶋田 進)	C360	Tanouc Masahiro (田上 雅浩)	P174	Yamanaka Manabu D. (山中 大学)	A365
Shimada Teruhisa (嶋田 照久)	P381	Tatsuyama Yasuaki (龍山 康朗)	B361	Yamasaki Masanori (山岬 正紀)	A358
Shimada Udai (嶋田 宇大)	A301	Terao Toru (寺尾 徹)	A110	Yamasaki Shota (山崎 聖太)	P371
Shimizu Hiroyuki (清水 宏幸)	P187	Terao Toru (寺尾 徹)	P378	Yamashita Akira (山下 晃)	D104
Shimoji Kazuki (下地 和希)	C111	Terao Yukio (寺尾 有希夫)	A161	Yamashita Katsuya (山下 克也)	C106
Shimosaka Takuya (下坂 琢哉)	A158	Terasaki Koji (寺崎 康児)	D155	Yamashita Koji (山下 浩史)	D167
Shimose Ken-ichi (下瀬 健一)	C369	Tobo Yutaka (當房 豊)	D103	Yamashita Yousuke (山下 陽介)	P391
Shimose Ken-ichi (下瀬 健一)	P115	Tohjiima Yasunori (遠嶋 康徳)	A154	Yamauchi Akira (山内 晃)	P351
Shindo Eiki (新藤 永樹)	B203	Tokoro Yuka (所 悠香)	P350	Yamazaki Atsushi (山崎 敦)	C304
Shinoda Taro (篠田 太郎)	P127	Tomita Tomohiko (冨田 智彦)	P181	Yamazaki Hiroe (山崎 弘恵)	A102
Shiogama Hideo (塩籠 秀夫)	B101	Tomiyama Yoshiyuki (冨山 芳幸)	B363	Yano Kenya (矢野 謙也)	B354
Shiraishi Shouji (白石 晶二)	B364	Tomiyama Yoshiyuki (冨山 芳幸)	C354	Yashiro Hisashi (八代 尚)	P114
Shoji Yoshinori (小司 禎教)	P326	Toyoda Masaya (豊田 将也)	P118	Yashiro Hisashi (八代 尚)	P315
Silva Herran Diego (スイルバ エラン デイエゴ)	P396	Toyoda Sakae (豊田 栄)	A156	Yasuda Tamaki (安田 珠幾)	B154
		Tsuboi Kazuhiro (坪井 一寛)	A160	Yasuda Yuki (安田 勇輝)	C157
		Tsuboki Kazuhisa (坪木 和久)	A305		
		Tsuguti Hiroshige (津口 裕茂)	A202		

Yasuda Yuki (安田 勇輝)	C158	Yokoyama Tsuchimi (横山 土実)	P379	Yoshimura Kei (芳村 圭)	D165
Yasufuku Hidetoshi (安福 英俊)	B359	Yoshida Kenji (吉田 健二)	C355	Yoshimura Kotaro (吉村 洸太郎)	P320
Yasunaga Kazuaki (安永 数明)	A212	Yoshida Kohei (吉田 康平)	P172	Yoshino Jun (吉野 純)	P171
Yasunari Tepei J. (安成 哲平)	P163	Yoshida Ryuhei (吉田 龍平)	P199	Yoshioka Mayumi (吉岡 真由美)	P173
Yasutomi Natsuko (安富 奈津子)	Pl1a0	Yoshida Satoru (吉田 智)	P331	Yuasa Soichiro (湯浅 惣一郎)	P325
Yatagai Akiyo (谷田貝 亜紀代)	A114	Yoshida Sho (吉田 翔)	D306	Yuba Yoshiki (弓場 良樹)	P346
Yokoi Satoru (横井 覚)	A111	Yoshida Toshiya (吉田 敏哉)	P308	Yumimoto Keiya (弓本 桂也)	D361
Yokota Sho (横田 祥)	P116	Yoshida Yukio (吉田 幸生)	A166		
Yokoyama Chie (横山 千恵)	P196	Yoshikai Tomohiro (吉開 朋弘)	P316		